

一般社団法人 埼玉県経営者協会会報

# 埼経協ニュース



6・7

19 月号

## 石井新体制スタート

**新会長に石井進氏（AGS株代表取締役社長）、新副会長に橋本義昭氏（埼玉縣信用金庫理事長）、清水淳氏（東京ガス株埼玉支社長）の二氏を選任、二〇一八年度決算報告、二〇一九年度事業計画等全議案を承認**

### 二〇一九年度定時総会

特別講演では、日本パラリンピック委員会 副委員長 高橋秀文氏が「東京2020パラリンピックの成功に向けて〜共生社会実現への道〜」と題して講演。その後、パラリンピックの成功に向けて役員・講師・会員全員で決意表明を行った。

二〇一九年度定時総会は、五月十日（金）十三時三〇分からパレスホテル大宮にて開催された。

当日は各界のご来賓の方々並びに会員を合わせて三三〇名の方々にご参加いただいた。

第一部は、上條会長の開会挨拶にはじまり、続いて、ご来賓を代表して、田中琢二財務省関東財務局長、木塚欽也厚生労働省埼玉労働局長、近藤嘉連合埼玉会長の三氏から祝辞を頂戴した。



2019年度定時総会

次に来賓紹介、定数確認後、上條会長が議長となり、審議が進められ、二〇一八年度事業報告・決算報告、二〇一九年度事業計画・収支予算、会長・副会長の選任など、以下の議案すべてが原案通り承認された。

【議案】  
一、二〇一八年度事業報告  
二、二〇一八年度決算報告  
三、二〇一九年度事業計画  
四、二〇一九年度収支予算  
五、理事・監事の選任  
六、会長・副会長・専務理事の選任

続いて、石井新会長から以下の



議事を進行する上條 正仁会長

六名の新規会員をご紹介いただいた方々に対し、感謝状の贈呈が行われた。

- ・池田一義氏（株）埼玉りそな銀行代表取締役社長
- ・加藤喜久雄氏（株）武蔵野銀行取締役頭取
- ・石井進氏（AGS株）代表取締役社長
- ・吉野寛治氏（吉野電化工業株）代表取締役
- ・藤池一誠氏（株）デサン代表取締役社長
- ・三原宏治氏（日本自動車管理株）代表取締役



講演する高橋 秀文氏



石井新体制スタート

なお、所用により総会を欠席された坂本哲朗氏（カツミテクノ株）代表取締役社長と永島明氏（有共エレクトロ代表取締役）にも後日、感謝状をご送付しました。その後事務局報告が行われ第一部を終了した。

第二部の講演会では、日本パラリンピック委員会 副委員長 高橋秀文氏より「東京2020パラリンピックの成功に向けて〜共生社会実現への道〜」と題して講演が行われた。

高橋氏は、「障害の有無や男女年齢、国籍に関係なく、みんなが一人一人、個性を発揮して生き生きと生きられる社会が共生社会。障害も1つの個性であり、みんな違って、みんないい社会」を続けていかなければならない」と述べるとともに、講演の最後に「2の22乗」という言葉を掲げ、「1人が2人にパラリンピックを見に行こうと伝え、22回繰り返せば

419万人になり、全競技会場が間違いなく満員になる」と結ばれた。続いて、スローガン「一九〇二」が盛り上げよう！の横断幕を掲げ、役員・講師・会員全員で「頑張るぞ！」と唱和を行った。

講演終了後、上田清司埼玉県知事にご登壇いただき、石井進新会長から、来る八月の知事選挙への出馬要請書を手交した。

## 2019年度定時総会 上條会長開会挨拶

会長の上條でございます。本日は会員の皆様におかれましては、10連休明けのご多忙の中、多くの皆様にご出席いただき、誠にありがとうございます。また、お手元のご来賓者名簿にございますように、公私とも大変お忙しいなか、官界、経済界、労働界、そして教育界より多数のご来賓の皆様にご臨席を賜りました。皆様方のご厚誼に対しまして、深く感謝申し上げます。

さて、5月1日、憲政史上初めてとなる天皇陛下の譲位に伴う皇位継承により皇太子さまが新天皇に即位し、新元号「令和」がスタートいたしました。残念ながら株価は連休明けから低迷しています。が、明るい祝賀ムードの中、改元の経済波及効果2兆円という試算もあり、新しい時代の到来を期待感を持って受け止めたいものと思えます。

その後、休憩を挟んで第三部の懇親会に移った。

懇親会は藤池誠治副会長の開会挨拶に始まり、続いて上田清司埼玉県知事、清水勇人さいたま市長よりご挨拶を頂戴し、その後山口宏樹埼玉大学学長の乾杯の音頭で懇親の宴がスタートした。そして、会員同士の懇親が大いに図られ、吉野寛治副会長の閉宴の挨拶で懇親会は終了した。

早いもので、私は、平成27年5月の定時総会で、70年に及ぶ歴史と伝統を有する、埼玉県経営者協会 第9代会長に選任され、以降4年間、会長を務めさせていただきましたが、本日の総会で任期満了に伴い会長を退任することとなります。

ここでこの4年間を振り返り、社会・経済面・事業面で、特に印象に残っている事柄について触れさせていただきます。

まずは、自然災害です。気象庁の震度階級が制定されて初めての震度7を2回観測した熊本地震、北海道胆振東部地震、水害の被害額としては過去最大となった、平成30年7月の西日本豪雨など、自然災害の怖さと危機管理の重要性を改めて実感させられつづけた4年間でした。

経済面では、景気回復基調が戦後最長を更新し、継続していることが報道されてきましたが、日本経済の主役であったものづくりは世界的な大きなIT化への変化に



開会挨拶をする  
上條 正仁会長

ややもすると取り残され、国際的な競争力の減退が懸念され、外資の支援を受ける大手製造業が増加しています。一方で、ネット覇権を賭けた米中貿易戦争ともいえる経済摩擦の行方は見通しが利かず、今後の日本経済への影響が大いに懸念される所です。また、政治的には欧米を中心にポピュリズムや自国主義の台頭が目立ち、平和と経済の安定への影響が大いに心配されます。

政府月例経済報告では、3月に景気の全体像を示す総括判断を「景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している」と3年ぶりに引き下げ、4月の企業の業況判断は製造業を中心に慎重さがみられると下方修正しています。日銀の3月短観の業況判断DIも悪化するなど、先行きに予断が許せない状況です。

企業経営面では、過労死自殺など長時間労働是正が喫緊かつ最重要課題となり、70年ぶりの労働法制の大改革である、働き方改革関連法の施行まで一気に進んだのが印象的でした。また、企業ガバナ

ンスという観点では、世界的な日本のものづくり企業の検査不正などの不祥事が連続して発覚し、加えて世界的な大ニュースとなった日産のゴーン会長の逮捕など、社会の一員としての企業行動の透明性や企業トップ自身のインテグリティの重要性をこれまで以上に意識せざる得ない時代となってきました。

続いて、本会の事業活動について、私の在任中に開始した事業について、触れさせていただきます。まずは、科学の甲子園についてです。会長に就任した第5回以降、埼玉県での予選会から全国大会までを通して会員企業が支援する、全国唯一の取組を実施しております。ご支援をいただく企業も年々増加しております。引き続き、是非支援の輪の拡大をお願いいたします。近い将来、日本企業の国際競争力を支える人材の育成につながっていくことを願うところです。

2つ目は、課題解決型インターンシップの充実です。県内企業の経営課題解決とともに、あわせて県内企業に対する学生の理解を深めることを目的に既に3回開催し、学生参加者数も増加し、課題に対する取組内容も大幅に充実しております。本年度も実施いたしますので積極的な応募をお待ちしております。学生たちに、さらにと光る中小企業の多い埼玉県に大いに興味を持ってほしいものと思っております。

3つ目は、働き方改革・働きが

## 目次

○二〇一九年度定時総会	一
○二〇一九年度第一回理事會	八
○東京二〇二〇パラリンピック 競技大会応援宣言	九
○科学の甲子園	十
○埼玉県インターンシップ推進 事業説明會・個別相談會十三	十三
○埼玉県産業労働部主要施策説明會	十四
○労働法実務講座(第一) 第四 講	十四
○埼玉大学研究者との出会いの 広場	十六
○ものづくり大学へようこそ	十七
○企業経営動向調査・特別調査	十八
○新入社員研修	二三
○外国人留学生雇用セミナー・ 企業説明會	二三
○既卒三年以内の方対象就職面 接會	二三
○暑中お見舞い申し上げます	二四
○高等学校等の就職支援に関する 要請	二七
○青年経営者部會二〇一九年度 定時総會	二七
○会員親睦ゴルフ	二九
○青年経営者部會「学び合うプ ログラム」	三十
○日本経団連の提言等	三十
○ワンプoint労働法	三十
○埼玉県からのお知らせ	三一
○事業だより、告知版、会員の 動き	三二

い向上への取り組みです。企業成長の基盤となる多様な人材が活き活きと働ける職場づくりのためには、「働き方改革の推進」と「従業員の働きがいの向上」が車の両輪となつて機能することが不可欠です。こうした観点から、「働き方改革・働きがいの向上委員会」を昨年度新設し、埼玉県、埼玉労働局、連合埼玉、県内経済団体で組成する公労使会議で、様々な取り組みを推進して参りました。本年度も従来に増して取り組んでいく計画となつていきますので、セミナー、フォーラム等への積極的なご参加をお願いいたします。

さて、現在と近い将来の世界の行方を見通しますと、まさに経済やビジネスの既成概念が壊れ始めていると言えます。デジタル化やグローバル化が国境の概念をなくしたのに続き、いま訪れているのは「GAF A」に代表される業界の枠組みを超えた産業の変革です。日本を含め世界は大きな変革期に入つており、低成長と低金利が長く続くセキユラー・スタグネーション（長期停滞）に突入し始めた状況と言つても過言ではありません。

こうした大変革・大激動の時代の到来を踏まえ、今後の企業経営について、『人を育てる』『組織を動かす』という視点から私の所感を2点申し述べさせていただきます。

まずは、1点目は「人を育てる」ということです。経営トップが部下に伝えるべきメッセージとして、とても参考となる、ソニー会長だった盛田昭夫氏の事例をご紹介します。

ソニーの会長だった盛田昭夫氏が、部下に伝えた代表的なメッセージに「Don't trust anybody」という言葉がありました。直訳すれば、「誰も信用するな」となりますが、真意は「最後は自分だ」「最終責任はトップ自らが取る」ということです。部下に仕事は任せなければならない、任せると責任は決して放棄しないということです。その信頼があるからこそ、人はその人の掌の上で、自らの限界まで力を発揮しようと本気になるのです。経営トップが肝に銘じておくべきメッセージだと思います。

2点目は、「組織を動かす」についてですが、失敗を恐れずチャレンジすることの重要性について触れさせていただきます。また、ソニーの事例になりますが、ソニーの創業者井深大氏は著書「わが友 本田宗一郎」で、親友だったホンダの創業者の言葉を引用しています。

「人生は見たたり、聞いたり、試したりの3つの知恵でまともまつているが、その中で一番大切なのは『試したり』であると思う。ところが世の中の技術屋というものは、見たたり、聞いたりが多くて、試したりがほとんどない。僕は見たたり聞いたりするが、それ以上に試すことをやっている。その代わり失敗も多い。失敗と成功はうらはら

になつていく。みんな失敗を厭うもんだから、成功のチャンスも少ない。」井深氏は、傷だらけの本田さんの左手は、こうした無数の「試したり」の結果だと讃えています。

大きな話題を呼んだ、一昨年の米ギャラップの調査では、日本は「熱意溢れる社員」の割合が6%と世界139か国中132位と世界最下位クラスになつたと話題になりました。このお二人の名経営者に従えば、「試し、そして失敗をすること」を積極的に推奨し、「最後は経営者のリスク」と肝を据えることで、組織は活性化し、社員のチャレンジ意欲を掻き立てることにつながり、企業の真の強さが生まれるということではないでしょうか。

以上、大変長くなりましたが、冒頭で申し上げた通り、私は今日の総会で会長を退任することとなります。この4年間、会長の職責を全うすることができましたのも、ここにいらつしやいます、副会長をはじめとする役員、多くの会員の皆様のご支援・ご協力と専務理事をはじめとする事務局員の努力に支えられたものと心から感謝を申し上げます。

本会の将来を展望いたしますと、経営基盤の拡充、機能サービスのさらなる充実など、まだまだ経営課題が山積しております。これら課題解決のためにも、新役員体制、そして事務局に対し、引き続きのご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の事業のご繁栄と、本日にご臨席の皆様方の益々のご健勝をご祈念申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。

## 2019年度定時総会 石井会長就任挨拶

このたび、代表理事・会長にご選任いただきました、AGSの石井でございます。会長就任にあたり、一言、ご挨拶を申し上げます。まずは、本会の経営基盤強化のために、ご尽力いただき、本日をもってご退任されました、上條会長、4年間ありがとうございました。

上條会長の数々のご業績に対し、深く感謝申し上げます。今後も引き続き、高い次元から、ご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

皆様、ご高承の通り、埼玉県経営者協会は、設立後70年を超える歴史ある経済団体で、しかも、新元号「令和」がスタートした、歴史的な節目の年に、第10代会長の任を賜り、改めて、本会の歴史と



就任挨拶をする  
石井 進 新会長

伝統、本会に寄せる各界からの期待、そして、社会的使命を痛感している次第であります。

ここで、企業を取り巻く経営環境に目を転じますと、労働人口の減少、グローバル競争の激化に加え、ビッグデータの活用やIoT、RPAの普及拡大など、第4次産業革命といわれる、デジタル革命が進行し、急速に事業環境は変化を遂げております。

一方で、企業経営でも、労働改革関連法の施行や働き方改革による生産性向上など、喫緊の課題が山積しております。

こうした、激しい環境変化の中で、本会の会長職を勤めさせていただき、その責任の重さに、身の引き締まる思いでございます。

今後は、これまで、諸先輩の方々が築かれてこられました、本会の良き伝統を受け継ぎ、会員企業のご支援、ご協力の下、埼玉県、国、大学などと、密接に連携を図りながら、総合経済団体としての機能を、さらに充実させ、企業の経営課題解決に貢献するとともに、教育・障害者支援など、地域の様々な課題にも、積極的に取り組んでいく所存でございます。

会員の皆様におかれましては、引き続き、ご支援・ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。結びに、会員企業の皆様の益々の繁栄を、心よりご祈念申し上げます。会長就任のご挨拶とさせていただきます。

よろしくお願いいたします。

# 新 役 員 体 制

## 【名誉会長】

名 誉 会 長	利根 忠博	(株)埼玉りそな銀行元会長
名 誉 会 長	西村 和義	日本信号(株)元会長
名 誉 会 長	上條 正仁	(株)埼玉りそな銀行シニアアドバイザー

## 【顧問】

顧 問	栗原 隆	太平洋セメント(株)名誉顧問
顧 問	森谷 文昭	日本ピストンリング(株)元会長

## 【理事】

協会の役職名	氏名	事業所名	事業所役職名
会 長	石井 進	AGS(株)	代表取締役社長
副 会 長	加藤喜久雄	(株)武蔵野銀行	取締役頭取
副 会 長	藤池 誠治	(株)デサン	代表取締役会長
副 会 長	吉野 寛治	吉野電化工業(株)	代表取締役
副 会 長	池田 一義	(株)埼玉りそな銀行	代表取締役社長
副 会 長	山本 彰	日本ピストンリング(株)	代表取締役社長
副 会 長	橋元 健	キャノン電子(株)	代表取締役副社長
副 会 長	斉之平伸一	三州製菓(株)	代表取締役社長
副 会 長	原 敏成	武州瓦斯(株)	代表取締役社長
副 会 長	宮澤 政信	マルキユー(株)	代表取締役会長
副 会 長	神田 正	(株)ハイデイ日高	代表取締役会長
副 会 長	牛窪 啓詞	(株)愛工舎製作所	代表取締役会長
副 会 長	増田 文治	(株)マスタック	代表取締役社長
副 会 長	川本 武彦	(株)サイサン	代表取締役社長
副 会 長	徳淵 良孝	日本信号(株)久喜事業所	取締役副社長
副 会 長	高橋 行憲	(株)日中医療福祉支援機構	代表取締役
副 会 長	栗田美和子	(株)クリタエイムデリカ	代表取締役
副 会 長	伊藤 麻美	日本電鍍工業(株)	代表取締役
副 会 長	小高富士夫	むさし証券(株)	取締役社長
副 会 長	榊原 明	東日本電信電話(株)埼玉事業部	取締役埼玉事業部長
副 会 長	荒木 道介	UDトラックス(株)	シニアアドバイザー
副 会 長	戸所 邦弘	富士倉庫運輸(株)	取締役社長
副 会 長	田中徳兵衛	セントラル自動車技研(株)	代表取締役社長
副 会 長	中村 知久	東日本旅客鉄道(株)大宮支社	執行役員大宮支社長
副 会 長	松村 宗夫	ボッシュ(株)むさし工場	執行役員
副 会 長	橋本 義昭	埼玉縣信用金庫	理事長
副 会 長	清水 淳	東京ガス(株)埼玉支社	埼玉支社長
業務執行理事・ 専務理事	廣澤 健一	(一社)埼玉県経営者協会	専務理事

## 【監事】

協会の役職名	氏名	事業所名	事業所役職名
監 事	中込 秀明	富士電子(株)	代表取締役社長
監 事	松本伸一郎	(株)松本商会	代表取締役社長

# ご来賓

(敬称略・順不同)

▽埼玉県知事 上田清司  
▽さいたま市長 清水勇人

## 《講師》

▽日本バランピック委員会副委員長 高橋秀文

## 《国関係》

▽財務省関東財務局関東財務局長 田中琢二  
▽財務省関東財務局総務部長 外崎 亮  
▽財務省関東財務局財務広報相談室長 齋藤和幸  
▽経済産業省関東経済産業局地域経済部次長 五十嵐倍  
▽独立行政法人造幣局さいたま支局長 貝守真一  
▽厚生労働省埼玉労働局総務部長 木塚欽也  
▽厚生労働省埼玉労働局総務部長 田代良文  
▽厚生労働省埼玉労働局総務調整官 進藤裕子  
▽厚生労働省埼玉労働局総務課長 飯山浩史  
▽厚生労働省埼玉労働局労働保険徴収課長 大竹桂子  
▽厚生労働省埼玉労働局雇用環境均等室長 手塚和子  
▽厚生労働省埼玉労働局労働基準部 唄 繁樹  
▽厚生労働省埼玉労働局監督課長 長澤 篤  
▽厚生労働省埼玉労働局賃金室長 津田恵子  
▽厚生労働省埼玉労働局健康安全課長 阿部恭之  
▽厚生労働省埼玉労働局職業安定部長 大塚陽太郎  
▽厚生労働省埼玉労働局職業安定課長 洪沢修一  
▽厚生労働省埼玉労働局職業対策課長 宮内直利  
▽厚生労働省埼玉労働局訓練室長 加藤裕一  
▽日本銀行調査統計局調査主幹・埼玉県経済総括 清水雅之  
▽防衛省自衛隊埼玉地方協力本部援護班班長 下村孝史  
▽防衛省自衛隊埼玉地方協力本部援護係長 池松純公蔵

▽国立研究開発法人科学技術振興機構数理推進部 調査役 岡田啓一

## 《県関係》

▽総合調整幹 渡辺 充  
▽産業労働部部長 加藤和男  
▽産業労働部副部長 新里英男  
▽産業労働部雇用労働局長 勝村直久  
▽産業労働部産業労働政策課長 野尻一敏  
▽産業労働部産業支援課長 藤田 努  
▽産業労働部企業立地課長 堀口幸生

▽産業労働部金融課長 大森明紀  
▽産業労働部観光課長 田中邦弘  
▽産業労働部雇用労働課長 岡田 健  
▽産業労働部シニア活躍推進課長 堀光美知子  
▽産業労働部ウーマノミクス課長 山野隆子  
▽産業労働部産業人材育成課長 山口 修  
▽埼玉県産業技術総合センターセンター長 中村雅範  
▽報道部長 板東博之  
▽環境部部長 小池要子  
▽福祉部少子化対策局長 細野 正  
▽福祉部少子政策課長 高島章好  
▽福祉部少子政策課長 和田公雄  
▽県民生活部国際課長 和松弥生  
▽埼玉県教育委員会教育長 小松弥生  
▽埼玉県教育局県立学校部部長 渡邊 亮  
▽埼玉県教育局県立学校部副部長 日吉 亨  
▽埼玉県教育局県立学校部参事兼市町村支援部参事 金子 功

▽埼玉県教育局県立学校部県立学校人事課長 青木孝夫  
▽埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課長 石川 薫  
▽埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課長 江口大貴  
▽埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課指導主事 田島慎吾  
▽埼玉県教育局県立学校部高校教育指導課指導主事 松下史郎  
▽埼玉県立総合教育センター総合企画課長 増田正夫  
▽埼玉県労働委員会事務局長 今井真司  
▽埼玉県労働委員会使用者委員 奥山 秀  
▽埼玉県労働委員会使用者委員 芦葉武尊  
▽公財埼玉県国際交流協会理事 小島敏男  
▽公財埼玉県国際交流協会業務執行理事兼事務局長 鈴木健史

## 《市関係》

▽さいたま市教育委員会副教育長 久保田章  
▽さいたま市教育委員会学校教育部長 平沼 智  
▽さいたま市教育委員会学校教育部次長 渡邊祐子  
▽さいたま市教育委員会学校教育部教職員人事課長 澤田純一  
▽(一)社埼玉県商工会議所連合会会長 佐伯鋼兵  
▽埼玉県商工会連合会専務理事 茂木皇治  
▽埼玉県中小企業団体中央会会長 伊藤光男

## 《商工団体関係等》

▽埼玉県中小企業団体中央会専務理事 飯塚 孝  
▽埼玉経済同友会代表幹事 藤池誠治  
▽埼玉県信用保証協会会長 塩川 修  
▽公財埼玉県産業振興公社理事長 織田秀明  
▽公財埼玉県産業文化センター理事長 相川 博  
▽(一)社埼玉県産産文化協会会長 松本邦義  
▽公財さいたま市産業創造財団理事長 山縣秀司  
▽公財さいたま市産業創造財団監事 江田元之  
▽公財さいたま市産業創造財団常務理事 本澤 明  
▽公財産業雇用安定センター埼玉事務所所長 吉原和子  
▽埼玉県生産性本部会長 山田吉隆  
▽独・高齢・障害・求職者雇用支援機構埼玉支部埼玉 中村正彦  
▽職業能力開発促進センター所長 小林一彦  
▽埼玉県職業能力開発協会専務理事 齋藤明男

## 《経済界関係》

▽(株)埼玉りそな銀行代表取締役副社長兼執行役員 中尾安志  
▽(株)埼玉りそな銀行取締役兼常務執行役員地域営業統括 直江 大  
▽(株)埼玉りそな銀行常務執行役員地域ビジネス担当 宮崎恒史  
▽(株)埼玉りそな銀行常務執行役員埼玉中央地域営業本部長 小林義信  
▽(株)埼玉りそな銀行執行役員埼玉東地域営業本部長 内田政美  
▽(株)埼玉りそな銀行地域ビジネス部長 忍田昇一  
▽(株)埼玉りそな銀行県庁支店長 加藤和徳  
▽(株)埼玉りそな銀行さいたま営業部長 島田文太郎  
▽(株)埼玉りそな銀行大宮西支店長 強瀬憲治  
▽(株)武蔵野銀行常務取締役 赤城功一  
▽(株)武蔵野銀行常務取締役 小山和也  
▽(株)武蔵野銀行常務取締役 黒澤 進  
▽(株)武蔵野銀行地域サポート部副部長 森山誠一  
▽(株)武蔵野銀行本店営業部副部長 小山雅弘

## 《大学及び研究機関》

▽埼玉大学学長 山口宏樹  
▽埼玉大学理事・副学長 伊藤 修  
▽埼玉大学理事(教学)学生担当・副学長 重原孝一郎  
▽埼玉大学研究協力部長 秋山秀次郎  
▽埼玉大学大学院理工学研究科教授、先端産業国際ラボラトリー所長 小林浩二  
▽埼玉県立大学学長 綿貫啓一  
▽埼玉大学研究機構オープンイノベーションセンターセンター長 松岡浩司  
▽埼玉大学オープンイノベーションセンター産学官連携推進部門長 小林裕一  
▽埼玉大学参事役 福沢 猛  
▽埼玉大学総合キャリアセンターSUSーパーバイザー 宮田信久  
▽ものづくり大学理事長 長谷川真一  
▽ものづくり大学学長 赤松 明  
▽ものづくり大学専務理事 竹下典行  
▽埼玉県立大学理事長 田中 滋  
▽埼玉県立大学学長 萱場一則

## 《労働団体関係》

▽日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長 近藤 嘉  
▽日本労働組合総連合会埼玉県連合会事務局長 佐藤道明  
▽中央労働金庫埼玉県本部常務理事(埼玉県本部担当) 宮本重雄  
▽(一)社埼玉県労働者福祉協議会理事長 小林直哉  
▽(二)社埼玉県労働者福祉協議会専務理事 永田信雄

## 《報道関係》

▽(株)埼玉新聞社代表取締役社長 小川秀樹  
▽(株)埼玉新聞社クロスメディア局理事営業管理幹 秋谷明宣  
▽(株)埼玉新聞社編集局政経部経済担当 小林哲伸  
▽(株)テレビ埼玉常務取締役 小嶋一晃  
▽日本放送協会さいたま放送局局長 奥本千絵  
▽日本経済新聞社さいたま支局支局長 松田 隆  
▽(株)産経新聞社さいたま総支局長 藤山 実  
▽(株)日刊工業新聞社さいたま総局次長 水野史彦  
▽(株)時事通信社さいたま支局支局長 舟本典子  
▽(株)きょうせい 石川章一郎

## 《関係団体》

▽外井法律事務所弁護士 外井浩志  
▽(株)働きがいのある会社研究所代表取締役社長 岡元利奈子  
▽(株)働きがいのある会社研究所代表取締役社長 三輪 慶  
▽(株)働きがいのある会社研究所 岡元利奈子  
▽日本ホスピタリティ・マネジメント学会副会長 加地照子  
▽(株)帝国データバンク大宮支店情報部長 長谷川徹  
▽(株)帝国データバンク営業部推進部次長 上西伴浩



定時総会会場

# 2019年度 定時総会 アルバム



来賓祝辞  
田中 琢二 財務省関東財務局長



来賓祝辞  
木塚 欽也 厚生労働省埼玉労働局長



来賓祝辞  
近藤 嘉 連合埼玉会長



就任挨拶をする  
橋本 義昭 新副会長



就任挨拶をする  
清水 淳 新副会長



監査報告をする  
中込 秀明 監事



感謝状を贈呈された組織拡大協力会員の方々



組織拡大協力会員として感謝状を贈呈される池田一義氏の代理の中尾安志氏(左)



組織拡大協力会員として感謝状を贈呈される加藤喜久雄氏の代理の赤城功一氏(左)



組織拡大協力会員として感謝状を贈呈される藤池一誠氏(左)



組織拡大協力会員として感謝状を贈呈される三原宏治氏(左)



組織拡大協力会員として感謝状を贈呈される石井進氏の代理の原俊樹氏(左)

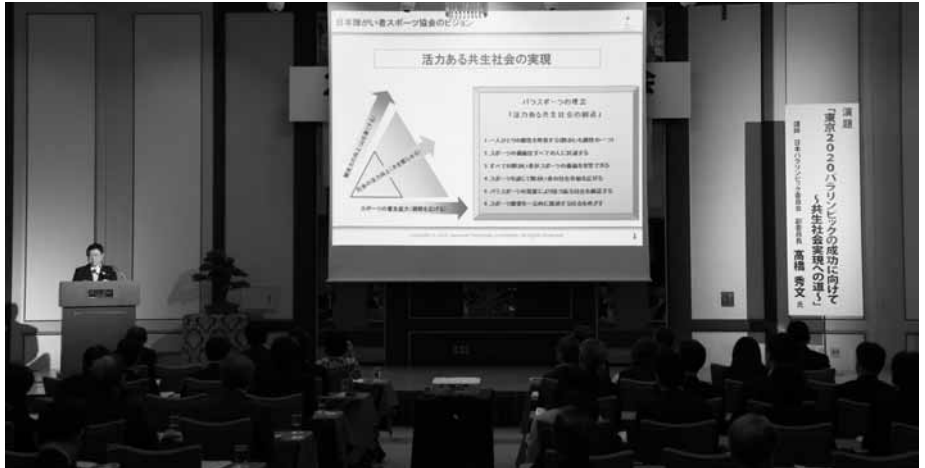


組織拡大協力会員として感謝状を贈呈される吉野寛治氏(左)

# 特別講演会



講演する高橋 秀文氏



講演会風景



パラリンピックの成功に向けて横断幕を掲げ、役員・講師・会員全員で決意表明を行った



上田清司埼玉県知事に知事選出馬要請書を手交



懇親会開宴挨拶  
藤池 誠治副会長



懇親会来賓祝辞  
上田 清司埼玉県知事



懇親会来賓祝辞  
清水 勇人さいたま市長



懇親会乾杯挨拶  
山口 宏樹埼玉大学学長



懇親会閉会挨拶  
吉野 寛治副会長

# 二〇一九年度第一回理事会開催

新会長に石井進氏(AGS(株)代表取締役社長)、新副会長に橋本義昭氏(埼玉縣信用金庫理事長)・清水淳氏(東京ガス(株)埼玉支社長)の二氏の就任を内定。幹事に栗原志功氏(株)あなたの幸せが私の幸せ代表取締役)・臼田和弘氏(株)臼田代表取締役)・岩井崇氏(株)昭和技研工業代表取締役)・藤池一誠氏(株)デサン代表取締役社長)の四氏が新たに就任。幹事会・講演会・懇親会も開催



理事会

四月十七日(水)十三時三十分から理事会が二十名の理事と二名の監事が出席し、パレスホテル大宮で開催された。

上條会長の開会挨拶の後、議案の審議に入り、以下の議案について事務局より説明が行われ、その後の審議の結果、すべての議案について満場一致で承認・可決され、これらの議案は五月十日(金)の定時総会に付議することとなった。

### 【理事会議案】

- 一、二〇一八年度事業報告
- 二、二〇一八年度決算報告
- 三、理事・監事の選任
- 四、会長・副会長・専務理事の選任
- 五、名誉会長の委嘱
- 六、顧問の委嘱
- 七、常任幹事・幹事の委嘱
- 八、二〇一九年度定時総会の招集
- 九、三月十三日理事会でのご承認事項の修正



幹事会開会挨拶 上條 正仁会長

他に、報告事項として、新規会員ご紹介者への感謝状贈呈の件などの報告が行われた。

なお、理事会終了後、理事、監事、常任幹事・幹事など五五名が出席し幹事会が開催された。また、幹事会終了後、元大分県立芸術文化短期大学教授の植村修一氏を講師としてお迎えし、「社風」の正体と御社の「企業文化」は大丈夫ですか?」と題して講演会が開催された。なお、講演会終了後懇親会も開催された。

### 【講師プロフィール】

植村 修一

(う え む ら し ゅ う い ち) 氏

1956年福岡県生まれ。東京大学法学部卒業後、日本銀行入行。調査統計局経済調査課長、大分支店長、金融機構局審議役などを経て退職。民間会社や独立行政法人経済産業研究所に勤



幹事会

務の後、2013年(18年)大分県立芸術文化短期大学教授、現在、金融論・リスクマネジメントを中心とした経済・ビジネス評論家として著作・講演等を中心に多方面で活躍中。主要著書・「リスク、不確実性そして想定外」(2012年)、「リスクとの遭遇」(2013年)、「不祥事は、誰が起すのか」(2014)、「社風の正体」(2018年) (いずれも日経プレミアシリーズ)、「バブルと生きた男 ある日銀マンの記録」(2017年) 日本経済新聞出版社、「リスク時代の経営学」(2016年) 平凡社) など多数。

## 武蔵野銀行アプリ

ダウンロードはこちら

グルメ・  
レジャー等  
お得なクーポン  
配信中!




Download on the  
App Store



ANDROID APP ON  
Google play



**武蔵野銀行**



## 埼玉りそな銀行

RESONA

りそなソーシャルメディアネットワーク

りそなグループのソーシャルメディア公式アカウントをご紹介します。

りそなグループでは、Facebook、Twitter、YouTube、LINEのソーシャルメディアを通じて、情報発信を行っています。






# 埼玉県経済6団体を代表して 石井進会長が東京2020パラリン ピック競技大会の応援を宣言

五月二十一日、埼玉県経済6団体（埼玉県商工会議所連合会、埼玉県商工会連合会、埼玉県中小企業団体中央会、埼玉県経営者協会、埼玉経済同友会、埼玉中小企業家同友会）を代表して、石井進会長より上田清司埼玉県知事に対し、東京2020パラリンピック競技大会の成功と活力ある共生社会の実現に向けて、6団体が一丸とな

って、一人でも多くの従業員が会場に足を運ぶ取組を積極的に実施する旨の宣言を行なった。  
なお、八月二十八日(水)十三時半より大宮ソニックシティ小ホールにおいて、埼玉県経済6団体主催の「東京2020パラリンピック競技大会を盛り上げる講演会」を開催しますので、皆様のご参加を宜しくお願い致します。



新副会長に内定した  
清水 淳氏



新副会長に内定した  
橋本 義昭氏



新会長に内定した  
石井 進氏



幹事に就任した  
藤池 一誠氏



幹事に就任した  
岩井 崇氏



幹事に就任した  
白田 和弘氏



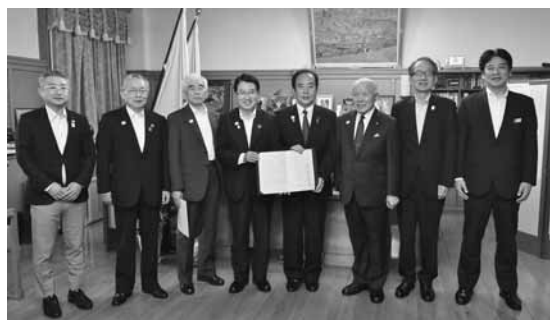
懇親会閉宴挨拶  
田中 徳兵衛副会長



懇親会開宴挨拶  
齊之平 伸一副会長



講師する元大分県立  
芸術文化短期大学教授  
植村 修一氏



上田清司埼玉県知事(右から4人目)と  
埼玉県経済6団体の代表の方々

## 全国ネットの人材情報で、 出向・移籍等の支援！

お気軽に  
ご相談ください

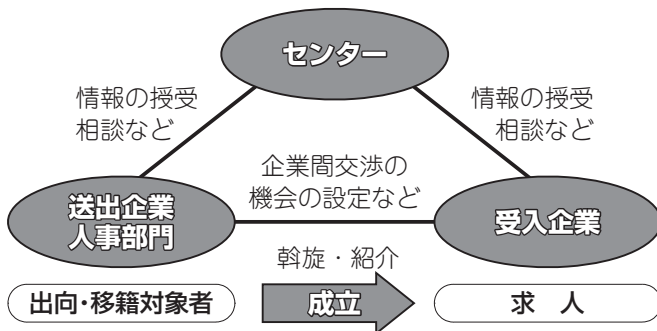
企業間の人材マッチングを  
サポートしています。

### 信頼と安心

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

### 無料

情報の提供、相談、あっせんの費用はかかりません。



●お問い合わせ

☎048-642-1121(土・日・祝日休)

<http://www.sangyokoyo.or.jp/>

出向・移籍の  
専門機関



公益財団法人  
産業雇用安定センター

埼玉  
事務所

～広げよう科学の輪 活かそう科学の英知～

# 第9回 科学の甲子園

## 協働パートナー募集！

産学官が創る科学祭“科学の甲子園”を本会会員企業で応援しよう！

「科学の甲子園」は、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が主催し、平成23年度よりスタートした一大イベントで、高校生を対象に各都道府県の予選会を勝ち抜いた代表校が集い、理科・数学・情報の複数分野を競速する取組です。第7回から第9回の全国大会が本県で開催され、今年度第9回が本県での最後の開催となります。

本年度も県大会から全国大会まで応援いただける協働パートナーを本会会員より募集いたします。この協働パートナーには「協賛企業」と「応援企業」があり、協働パートナーの企業の皆様には大会表彰式のプレゼンターとして登壇していただく予定です。

是非とも本趣旨にご賛同を賜り、積極的なご応募をお願いいたします。



昨年度第8回全国大会出場校の皆さん(ソニックシティイベント広場にて)



昨年度第8回協働パートナー

### 協賛企業

- 協賛金 20万円／一社
- 募集枠 5社（応募多数の場合は上限を超える場合もあり）
- 企業名・サイン（ロゴ）の掲出・紹介  
大会会場の掲出のほか、大会資料・JSTホームページ・新聞紙上への掲載等
- 表彰式（全国・県大会）のプレゼンター

### 応援企業

- 協賛金 10万円／一社
- 募集枠 10社
- 企業名・サイン（ロゴ）の掲出・紹介  
大会会場の掲出のほか、大会資料・JSTホームページ・新聞紙上への掲載等
- 表彰式（県大会）のプレゼンター

### 申込方法

下記の申込書に必要事項をご記入の上

（一社）埼玉県経営者協会宛に FAXにて 令和元年9月30日(月)までにお申し込みください。

※協賛金の振込等の諸手続きは、10月中旬(予定)に「科学の甲子園全国大会」協働パートナー事務局より連絡がございます。

（一社）埼玉県経営者協会宛（FAX 048-641-0924）

### 『第9回科学の甲子園』協働パートナー申込書

貴社名		
ご担当者所属・氏名	所属	氏名
住所・TEL	住所	TEL ( )
連絡先メールアドレス	@	
協働パートナー※	協賛企業	・ 応援企業

※協賛企業または応援企業のどちらか一方に○を付けてください



『第9回科学の甲子園埼玉県大会』は、県内国立、公立、私立の高等学校の生徒が理科・数学・情報の力を競う競技会です。県大会の優勝校は全国大会に出場します。

- 期日 令和元年11月2日(土)
- 場所 埼玉県立総合教育センター

## 『科学の甲子園埼玉県大会』概要

- 1 開催日程  
令和元年11月2日(土)
  - 集合・点呼 9:30~10:00
  - 開会行事 10:00~10:30
  - 筆記競技 10:40~11:40
  - 休憩・昼食 11:50~12:40
  - 説明・点呼 12:40~12:50
  - 実技競技 12:50~14:50
  - 特別講演 15:00~16:10
  - 結果・表彰 16:20~16:50
- 2 県予選出場チーム  
1校単位で編成された1、2年生6名で構成
- 3 競技の種類  
筆記競技と実技競技
  - ①筆記競技(60分)  
数学 物理 化学 生物 地学 情報  
より出題
  - ②実技競技(120分)

**総合得点1位のチームは、本県で開催される全国大会に出場!**  
(全国大会開催日:令和2年3月20日(金)~23日(月))

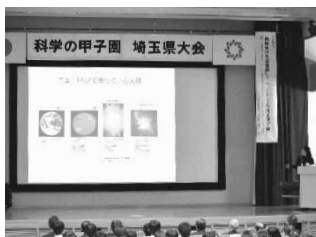
## 昨年度第8回埼玉県大会の様子(平成30年度)



筆記競技



実技競技



特別講演



記念撮影

## 特別講演

史上初ブラックホールの撮影に成功  
~地球サイズの電波望遠鏡で、楕円銀河  
M87に潜むブラックホールに迫る(仮題)

### ●講師紹介

国立天文台 水沢 VLBI 観測所 助教  
総合研究大学院大学 物理科学研究科  
天文科学専攻 併任  
秦 和弘 氏



### ●プロフィール

島根県出身。総合研究大学院大学物理科学研究科天文科学専攻。イタリア国立宇宙物理学機構ボローニャ電波天文学研究所、国立天文台水沢 VLBI 観測所の研究員を経て、2016年から国立天文台水沢 VLBI 観測所助教として勤務し現在に至る。15年に第31回井上科学振興財団井上研究奨励賞、17年に第28回日本天文学会研究奨励賞、平成30年度文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞。「東アジア VLBI (超長基線電波干渉計) ネットワーク計画」に力を注ぐ一方、EHT-Japan のメンバーとして史上初のブラックホールの撮影に成功し世界に衝撃を与えた。

## 昨年度第8回埼玉県大会出場校一覧

学 校 名			
1	県立浦和高校	14	県立川越工業高校
2	県立浦和第一女子高校	15	県立川越女子高校
3	県立浦和工業高校	16	県立久喜工業高校
4	県立大宮高校	17	県立熊谷高校
5	大宮開成高校	18	県立熊谷女子高校
6	市立大宮北高校	19	県立鴻巣高校
7	県立大宮工業高校	20	県立越谷北高校
8	開智高校	21	西武学園文理高校
9	県立春日部高校	22	県立所沢北高校
10	川口市立高校	23	県立不動岡高校
11	県立川口北高校	24	細田学園高校
12	県立川口工業高校	25	県立松山高校
13	県立川越高校	25校47チーム	

第9回全国大会(令和元年度)

主催 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST)



■期日 令和2年3月20日(金)~23日(月)  
 ■場所 開会式・表彰式 ソニックシティ  
 競技会場 サイデン化学アリーナ(さいたま市記念総合体育館)

## 昨年度第8回全国大会の様子(平成30年度)

日時:平成31年3月15日(金)~18日(月) 【大会結果】  
 場所:ソニックシティ 優勝 海陽中等教育学校(愛知県)  
 サイデン化学アリーナ 第2位 栄光学園高等学校(神奈川県)  
 参加:47校(361名) 第3位 滋賀県立膳所高等学校(滋賀県)



開会式



各種競技



各種競技



表彰式

## 昨年度第8回全国大会出場校一覧

No	都道府県	学校名	出場回数	No	都道府県	学校名	出場回数
1	北海道	北海道函館中部高等学校	初出場	25	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校	8回目
2	青森県	青森県立弘前高等学校	2回目	26	京都府	京都市立堀川高等学校	3回目
3	岩手県	岩手県立盛岡第一高等学校	7回目	27	大阪府	大阪星光学院高等学校	4回目
4	宮城県	宮城県仙台二華高等学校	2回目	28	兵庫県	兵庫県立宝塚北高等学校	初出場
5	秋田県	秋田県立秋田高等学校	7回目	29	奈良県	帝塚山高等学校	2回目
6	山形県	山形県立山形東高等学校	4回目	30	和歌山県	和歌山県立向陽高等学校	初出場
7	福島県	いわき秀英高等学校	初出場	31	鳥取県	鳥取県立鳥取西高等学校	8回目
8	茨城県	茨城県立並木中等教育学校	3回目	32	島根県	島根県立倉敷高等学校	2回目
9	栃木県	栃木県立宇都宮女子高等学校	初出場	33	岡山県	岡山県立倉敷天城高等学校	2回目
10	群馬県	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校	初出場	34	広島県	広島大学附属福山高等学校	初出場
11	埼玉県	埼玉県立浦和高等学校	4回目	35	山口県	山口県立徳山高等学校	4回目
12	千葉県	渋谷教育学園幕張高等学校	5回目	36	徳島県	徳島県立徳島科学技術高等学校	初出場
13	東京都	東京都立武蔵高等学校	初出場	37	香川県	香川県立丸亀高等学校	4回目
14	神奈川県	栄光学園高等学校	8回目	38	愛媛県	愛媛高等学校	2回目
15	新潟県	新潟県立新潟高等学校	7回目	39	高知県	高知学芸高等学校	6回目
16	富山県	富山県立富山中部高等学校	6回目	40	福岡県	久留米大学附設高等学校	7回目
17	石川県	石川県立金沢泉丘高等学校	6回目	41	佐賀県	弘学館高等学校	3回目
18	福井県	福井県立藤島高等学校	7回目	42	長崎県	青雲高等学校	3回目
19	山梨県	山梨県立吉田高等学校	3回目	43	熊本県	真和高等学校	3回目
20	長野県	松本秀峰中等教育学校	3回目	44	大分県	大分県立大分上野丘高等学校	5回目
21	岐阜県	岐阜県立岐阜高等学校	8回目	45	宮崎県	宮崎県立宮崎西高等学校	8回目
22	静岡県	静岡県立沼津東高等学校	2回目	46	鹿児島県	ラ・サール高等学校	8回目
23	愛知県	海陽中等教育学校	4回目	47	沖縄県	沖縄県立向陽高等学校	初出場
24	三重県	三重県立四日市高等学校	2回目				

## 昨年度第8回協働パートナー企業・団体一覧 ※県内企業は網掛け

No	協賛企業・団体	No	応援企業・団体
1	旭化成株式会社	1	サントリーホールディングス株式会社
2	アジレント・テクノロジー株式会社	2	トキタ種苗株式会社
3	株式会社内田洋行	3	公益財団法人 日本発明振興協会
4	AGS 株式会社	4	株式会社ハーベス
5	株式会社学研ホールディングス	5	ブリタニカ・ジャパン株式会社
6	ケニス株式会社		
7	株式会社講談社 (Rikejo)		
8	一般社団法人 埼玉県経営者協会		
9	株式会社埼玉りそな銀行		
10	一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会		
11	株式会社島津製作所/株式会社島津理化		
12	株式会社しまむら		
13	株式会社昭和技能工業		
14	スカパー JSAT 株式会社		
15	株式会社タムロン		
16	帝人株式会社		
17	テクノプロ・グループ		
18	トヨタ自動車株式会社		
19	株式会社ナリカ		
20	公益社団法人 日本理科教育振興協会		
21	パナソニック株式会社		
22	ポーライト株式会社		
23	株式会社武蔵野銀行		
24	株式会社ヤガミ		
25	株式会社 UL Japan		



ソニックシティホール前

## 2019年度埼玉県大学生インターンシップ 説明会・個別相談会を開催

「埼玉県大学生インターンシップ推進事業」では、次代を担う学生の夢の実現に資するインターンシップの普及・拡大に向けて、これまで多くの大学や受入先である事業所、自治体等の皆様にご協力を頂き、着実に成果を上げてきた。本年度も引き続き、本会が事業受託団体としてインターンシップを推進していくこととなった。

本年度は、四月十日よりシステムを再稼働し、募集情報の登録、エントリーの受付を開始。一般型インターンシップ及びプロジェクト推進型インターンシップの説明会・個別相談会を大学関係者、企業関係者向けに四月八日(月)、ソニ



説明会の様子

ックシティビル四階市民ホールにて開催し、五十五名が参集した。

当日の説明会・個別相談会では、はじめに、埼玉県産業労働部産業人材育成課の中山成主幹より挨拶をいただき「このインターンシップ事業で、県内企業には多くの学生を受け入れていただき感謝している」と謝辞を述べた。また、本年度からの変更要点として、①県庁でのインターンシップは、このインターンシップシステムとは別スキームで運用し、人事課で所管する。詳細は県庁ホームページでご案内する。②昨年度までの「課題解決型インターンシップ」は「プロジェクト推進型インターンシップ」と名称変更し、受入先の負担軽減なども考慮し、期間を長期型から中・長期型に短縮する形で実施すると説明した。

続いて本会の廣澤健一常務理事より、埼玉県大学生インターンシップ推進事業の概要、実績等の報告、システム改良状況などの説明を行い、一般型インターンシップとともに、プロジェクト推進型インターンシップへの参加協力をお願いした。システム改良の要旨は①一般型では、昨年度は登録学生を対象に定期的に企業の募集情報の社名一覧を配信した。本年度は学生の参加促進の意味合い

から、参加大学にも同様の配信を試み、大学に学生の背中を押すようなサポートも期待する。

②同時、企業からも学生からも相互アクセスできるシステムなので、有効に活用いただき、企業には登録だけでなく、是非、募集情報の公開までの実行をお願いしたい。

③プロジェクト推進型は本年度も埼玉大学と本会が連携・協力して実施する。類型としては二種類あり、企業がプロジェクトテーマを示す「企業プロジェクト推進型」と大学と企業が提携し、

プロジェクトを進める「大学・企業提携型」とする。

④また、昨年度実施した課題解決型は期間が三カ月以上と長かったが、企業の受入負担軽減などを図るため、プロジェクト推進型では二カ月程度とやや期間を短めにした。

また、参考として平成三十年に行ったシステムの改良点を改めて紹介、ワンデーインターンシップの拡大を踏まえ、実習日数区分に「一日」、「一週間未満」を選択項目として追加したことを説明。



本会常務理事 廣澤 健一



埼玉県産業労働部産業人材育成課  
委託訓練・連携推進担当 主幹  
中山 成氏



埼玉大学総合キャリアセンター  
SU スーパーバイザー  
宮田 信久氏



埼玉大学基礎教育研究センター  
教授 石阪 督規氏

「確かな未来」が会社を変える。



で退職金。

「中退共」は中小企業が加入しやすい  
国の退職金制度です。

- ① 国の制度だから安全・安心!  
さらに掛金の一部を国が助成します。
- ② 社外積立でラクラク管理!  
管理や運用の手間がかかりません。
- ③ 掛金は全額非課税でオトク!  
節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんもご加入いただけます。
- 他の退職金・企業年金制度等とのポートビリティも可能です。

詳しくは  
ホームページをご覧ください

中退共 検索

<http://chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/>

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL(03)6907-1234 FAX(03)5955-8211



インターンシップサイトのトップページ

さらに、インターンシップシステムで同時運用している高等学校・特別支援学校のインターンシップも企業に登録と協力を求めた。会の後半では、プロジェクト推進型インターンシップの説明を埼玉大学統合キャリアセンターSUの宮田信久スーパーバイザーと埼玉大学基盤教育研究センターの石阪督規教授が行い、主な説明概要は次の通り。

①平成二十八年度から始まった「課題解決型インターンシップ」は、本年度は「プロジェクト推進型」に改称し、三〇名程度の実施を予定している。学生の成長を産学官でサポートし、次代を担う人材の育成と埼玉県内企業の理解を目的としている。昨年度の参加状況では、大学一、二年生の参加が五十七・二％と三、四年生より多く、学生のインターンシップ参加への早期化と自身のキャリア形成への積極化が特長となっている。

②企業の登録時期は、大学の大半が六月にガイダンスを実施するため、五月中に行うことが望ましい。

実施内容は、受入れ企業等を訪問して、二カ月以上の期間に十五程度の実習を行う。対象学生は、県内の大学生、大学院生、短期大学生、留学生。

プロジェクトテーマ策定や日程調整など企業側の負担を考慮し、幹事大学や参加大学がサポートしている。

学生にとってこのインターンシップは、単なる就業体験にとどまらず、社員・職員の方と一緒にプロジェクトの推進、課題解決に向けて取り組むため、大学では体験できない貴重な経験となり、教育的効果も高い。成果報告などでの実習内容の「見える化」により、学生の達成感も高まると思われる。

また、石阪督規教授からは、中長期インターンシップの意義とともに現代若者の意識、埼玉県の特長、就労人口減少化での課題、これまでに取り組んだプロジェクト型授業の紹介などが行われた。

なお、この埼玉県大学生インターンシップシステムのベースは文部科学省直轄 大学共同利用機関法人 国立情報学研究所（NII）が開発・保守を行なっているオープンソースのソフトウェアNetCommons（ネットコモンズ）で開発され、同研究所による継続的なメンテナンスを通じ、ソフトウェアの品質が担保されているので安全に利用できるシステムとなっている。



説明を行う勝村 直久氏



説明を行う新里 英男氏

## 平成三一年度 埼玉県産業労働部主要施策説明会開催

新規登録は当サイトから簡単に

登録でき、一度登録すれば、継続使用できるので、是非、会員企業のインターンシップに本システムをご活用していただきたい。

商店街の活性化に係る施策について説明がありました。また、次世代自動車産業支援としてラグビーワールドカップ熊谷会場での自動運転バスの実証実験の紹介がありました。

埼玉県大学生インターンシップシステムのURLは以下の通り。  
<https://www.saitama-internship.jp/>

続いて、産業労働部雇用労働局長 勝村 直久氏より、「中小企業向け制度融資」「魅力ある観光の推進」「就業支援と働き方改革の推進」「働くシニア 応援プロジェクト」の推進、「埼玉版ウーマノミクスプロジェクト」の推進、「産業人材の確保・育成」をテーマに説明が行われました。

最初に、産業労働部副部長 新里 英男氏より「変化に向き合う中小企業・小規模事業者の支援」「先端産業・次世代産業の振興」「海外ビジネス展開支援の強化」「産業集積の推進」「商業・サービス産業の育成」をテーマに説明が行われました。

まず、社会経済情勢の変化や県内産業の現状と課題について触れたあと、中小企業の経営力向上、受注機会の創出に関する施策のほか、農大跡地活用関連事業、ジェトロ埼玉誘致による海外展開支援、

「産業人材の確保・育成」をテーマに説明が行われました。観光関連事業の一つとして日本版DMO法人を中心とした広域観光施策について説明がありました。また、県の雇用情勢を踏まえながら雇用労働分野の事業として、若手人材の県内企業への就職支援、県内中小企業における若手社員の定着支援について説明がありました。そのほか、障害者、シニア、女性と多彩な人材が活躍できる環境整備に関する主要施策の概要説明が行われました。

## 二〇一九年度労働法実務講座開催

人事・労務・総務・庶務の担当者や現場管理・監督者を対象に労働管理上必要な労働法の実務知識などをわかりやすく解説することを目的に労働法実務講座を四講に

わたり開催しました。講義では過去の裁判例や実務上の取扱い等が数多く紹介されるとともに、働き方改革関連法についても適宜説明がなされるなど、実

実践的な内容の講義となりました。  
各講の開催概要は以下の通りです。

## 第一講

「労働法の基礎、労働時間と時間外管理、休日、休暇の法律実務」

五月一六日(木)の労働法実務講座の第一講は、外井法律事務所 外井 浩志弁護士を講師としてお迎えし、「労働法の基礎、労働時間と時間外管理、休日、休暇の法律実務」をテーマとして、大宮ソニックシティ四階市民ホールで開催し、四五人が参加しました。

講義ではまず、安全配慮義務、健康管理義務など職場生活の基礎的法律をめぐる問題について説明がありました。

続いて、労働時間の原則についてお話しがあり、どこまでが労働時間に含まれるかの判断が難しい事例や裁量労働のみなし労働時間について法律の条文とともに裁判例を用いながら説明がありました。休憩をめぐる法律問題では、勤務間インターバルの努力義務化に



講師 第1講・第2講・第3講 外井 浩志弁護士

ついでお話しがありました。  
また、働き方改革に関連した事項として、副業・兼業容認への流れや注意点、年次有給休暇の時季指定、時間外労働の上限規制、フレックスタイム制の改正、高度プロフェッショナル制度について説明いただきました。

## 第二講

「人事異動と出向・転籍の法律実務、懲戒処分、セクハラ・パワハラ」

五月二九日(水)の労働法実務講座の第二講は第一講に引き続き、外井法律事務所 外井 浩志弁護士を講師としてお迎えし、「人事異動と出向・転籍の法律実務、懲戒処分、セクハラ・パワハラ」をテーマとして、大宮ソニックシティ九階九〇六会議室で開催し、三三人が参加しました。

講義ではまず、人事異動をめぐる法律問題として配転、転勤、出向、転籍、派遣の具体例を挙げ個別の同意と包括的同意のどちらが必要かなど注意すべき事項について説明いただきました。

続いて、懲戒処分をめぐる問題について、処分手続の遵守、二重処罰の禁止に触れ、就業規則の充実に向けた視点からも説明いただきました。

また、セクハラ・パワハラをめぐる法律関係について、法律の定義やそれぞれの分類について説明

があるとともに、個別の裁判における賠償事例について説明いただきました。

講義の最後では、今国会で成立したパワハラ防止を義務付ける関連法について、事業主の努力義務、紛争の解決に関する条文について説明がありました。

## 第三講

「退職・休職・解雇・懲戒の法律実務、労働法改正のポイント」

六月四日(火)の労働法実務講座の第三講は第一講・二講に引き続き、外井法律事務所 外井 浩志弁護士を講師としてお迎えし、「退職・休職・解雇・懲戒の法律実務、労働法改正のポイント」をテーマとして、大宮ソニックシティ四階市民ホールで開催し、三二人が参加しました。

講義ではまず、退職をめぐる法律問題として、退職の種類、無断退職、退職願いの撤回について個別に触れたあと、定年制と高齢者雇用安定法との観点から継続雇用制度の運用及び就業規則の定め方



講師 第4講 伊藤 和樹弁護士

について説明をいただきました。

また、退職と解雇の違い、解雇の種類に関する基本的事項の確認とともに、解雇予告、解雇禁止事由など事業主の責任や過去の裁判例についての説明がありました。

続いて、休職に関する定義や休職事由の種類について説明いただきました。私傷病休職の復職に際した対応として、配置可能な職務かどうかの判断やリハビリ勤務の可否、休職期間の通算を定めた就業規則の事例など実務に沿った説明がありました。

講義の最後では、働き方改革のポイントとして、同一労働同一賃金の考え方について説明がなされました。

## 第四講

「パートタイマー、有期労働者、派遣労働者の管理と法律実務、就業規則」

六月一〇日(月)の労働法実務講座の第四講は、外井法律事務所 伊藤 和樹弁護士を講師としてお迎えし、「パートタイマー、有期労働者、派遣労働者の管理と法律実務、就業規則」をテーマとして、大宮ソニックシティ四階市民ホールで開催し、二八人が参加しました。

講義ではまず、パートタイム・有期雇用労働法について、同一労働同一賃金に関する法改正によって改正された部分を中心に、労働

条件に関する文書の交付、不合理な待遇の禁止、説明義務の創設について説明がありました。

次に、有期雇用労働者をめぐる法律関係について、有期雇用労働者の定義や期間の定め、期間中の解約や雇止め可否について説明があったほか、有期雇用労働者の無期転換権についても説明いただきました。特に、無期転換権において、クーリング期間の注意点、定年後再雇用での注意点について詳しく説明がありました。

続いて、派遣労働者の管理と法律実務として、労務管理や団体的労使関係に関する派遣先と派遣元の関係性について取り上げ、実務上問題となる点について説明いただきました。

同一労働同一賃金の説明では、厚生労働省発出のガイドラインに沿って、基本給の支払い、病欠休職の取得など注目が集まる事項について均衡待遇・均等待遇の原則を説明いただきました。

就業規則についての説明では、効力を巡る問題として労働基準監督署に届け出ていない場合、労働組合の意見を聞いていない場合、周知手続を欠く場合を取り上げ説明いただきました。

講義の最後では、副業・兼業の問題として労働時間の通算、安全配慮義務の問題を具体的なイメージを用いて説明いただきました。

# 埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ  
第113回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
 埼経協 専務理事 廣澤 健一 ☎048-647-4100  
 FAX048-641-0924

研究の内容	産業への展開
<p><b>埼玉大学先端産業国際ラボラトリー ヘルスケア・イノベーション研究ユニット</b>                  埼玉大学先端産業国際ラボラトリー所長/大学院理工学研究科 戦略的研究部門 感性認知支援領域  <b>綿貫 啓一教授</b></p> <p>先端産業国際ラボラトリーは、産官学金連携による研究・開発協働、事業化等を見据え、産業界・地域社会とのインターフェイスとして、共創型ワークショップや先端産業インキュベーションを実現するため、2016年4月に設置されました。</p> <p>ヘルスケア・イノベーション研究ユニットでは、IoT (Internet of Things), AI (Artificial Intelligent), HMI (Human Machine Interface), BMI (Brain Machine Interface), VR (Virtual Reality), AR (Augmented Reality)、非侵襲生体情報計測、感性認知、ロボティクス、デジタル・マニュファクチャリングなどの技術を融合し、先進ヘルスケアに関連する分野横断的な研究開発を行っています。本研究ユニットでは、研究開発における先進性、組織としての機動性を念頭に、産学官金共創ネットワーク形成し、異業種・異分野間、産・学・官のセクター間、技術や学術の領</p> <p>域間などの既存の壁を越えて、分野横断的なオープン・イノベーションによるシナジーが発揮するように、人的ネットワーク構築、研究開発、製品開発、事業化、標準化を精力的に取り組んでいます。</p> <p>本研究ユニットでは、産業界から約80社、毎年延べ1,000名を超える参加を得て、ワークショップおよびセミナーを多数開催しています。また、先端産業インキュベーション・スペースでは、地域特性を活かした知を活用し、グローバルな視点で長期的視野を持った基礎研究から社会の要請に応える応用研究までの創造性豊かな研究開発・試作・製品化・事業化を一貫して行っています。その結果、ワークショップおよびセミナーに参加頂いた企業と共同研究への発展事例も数多く生まれ、先端産業インキュベーション・スペースでは、10社を超える企業が事業化検討ステージまで進むとともに、世界最大の医療機器関連の国際展示会 (MEDICA, COMPAMED など) への出展、国際会議での最優秀論文賞受賞、JIS 標準化、日独国際産学連携など、国内のみならず国際的な数多くの実績を上げています。</p> <p>本研究ユニットでは、新産業創出・標準化事業を通じて広く社会に還元することにより、今後も研究開発を通じた産業人材育成で地域社会の発展に貢献していきます。</p> <p>ホームページ: <a href="http://www.saitama-u.ac.jp/aiit/">http://www.saitama-u.ac.jp/aiit/</a></p>  <p>ヘルスケア・イノベーション研究ユニットにおける主な活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>人間の認知・判断・行動過程を解明し、心理・認知状態の定量的評価</li> <li>深層学習などのAI技術を応用し、各種生体情報の分析、感性・認知の定量的評価</li> <li>機械システムの状態監視をIoT技術で行い、AI技術により状態推定・損傷予測</li> </ul> <p><b>学歴・略歴</b>                  綿貫 啓一                  (わたぬき けいいち)                  1991年 東京工業大学大学院博士後期課程修了、工学博士                  埼玉大学工学部助手、講師、准教授を経て、2005年より埼玉大学大学院理工学研究科教授。2014年 埼玉大学研究機構副機構長、オープンイノベーションセンター長、大学院理工学研究科戦略的研究部門感性認知支援領域長、2016年 埼玉大学先端産業国際ラボラトリー所長 現在に至る。                  日本機械学会フェロー、日本機械学会理事、日本設計学会副会長・理事などを歴任。</p>
<p><b>埼玉大学先端産業国際ラボラトリー メディカル・イノベーション研究ユニット</b>                  大学院理工学研究科 物質科学部門 物質機能領域 <b>松岡 浩司教授</b></p> <p>2016年度に設置された埼玉大学研究機構先端産業国際ラボラトリーのメディカル・イノベーション研究ユニット (通称 MiU) は、がんや感染症に対する創薬の研究開発を行っています。埼玉県が実施している先端産業創造プロジェクトから継続して研究開発を行っています。MiU には4名の教員 (教授2、准教授1、助教1) が所属しており、企業と協働し、共同研究を通して、製品開発を進めています。MiU の基盤技術は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①次世代抗体スクリーニング技術 (cDNA ディスプレイ法による次世代抗体の獲得)</li> <li>②AIE (凝集誘発発光) 技術 (ウイルス等との結合によるウイルスの見える化)</li> <li>③機能性微粒子作製技術 (種々の微粒子作製法を応用した検出・診断系への展開)</li> <li>④多価化合物によるクラスター化技術 (多価接着による飛躍的な感度向上)</li> <li>⑤糖鎖活用技術 (生理活性オリゴ糖合成や機能化分子の創出)</li> </ol> <p>となっています。また、表面プラズモン</p> <p>共鳴法を使った BIACORE システムや水晶振動子 (QCM) を用いた分子間相互作用解析システム、ナノサイズの粒子サイズを測定する DLS 装置、さらに単分子膜作成なども行える LB 膜作成装置など幅広く解析を可能とする機器も保有しています。体外診断薬をはじめ、創薬に関する共同研究を広く募集しております。</p> <p>キーワード: 有機合成化学、高分子科学、分子生物学、進化分子工学、ELISA、イムノクロマトグラフ</p>  	<ul style="list-style-type: none"> <li>生体適合化合物を有機合成的に扱う</li> <li>クラスター型化合物の多点結合による飛躍的な活性向上</li> <li>蛍光発光等を利用したテララメードなバイオプローブ</li> <li>cDNA ディスプレイ法による標的物質の探索</li> </ul> <p><b>学歴・略歴</b>                  松岡 浩司                  (まつおか こうじ)                  1995年 北海道大学大学院博士後期課程修了、理学博士                  埼玉大学工学部助手、助教を経て、2011年より現職                  埼玉大学研究機構オープンイノベーションセンター長、知的財産部門長を兼任</p>



# 「ものづくり大学」へようこそ

連載  
第94回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。  
埼経協 専務理事 廣澤 健一 ☎048-647-4100  
FAX 048-641-0924



## 流動床インタフェースの応用で産学連携

総合機械学科 菅谷 諭 教授

砂が水のようになる『流動床インタフェース』の応用に関する研究を進めております。砂のような固体粒子を入れた容器の底面から空気のような流体を上向きに噴出させると、固体粒子は浮遊懸濁して液体のような流動性を示します。これまでは、水面に浮かぶ感覚や水の触感を水を使わずに再現することは困難でありました。この流動化した砂を用いて、産業への応用、ボートに乗るシミュレータ、およびリハビリテーションやトレーニングへの応用や新しいインタラクションシステムの可能性の研究を進めております。例えば、砂の上にボートを置いて、砂に流動性を与えることによって、ボートは砂の上に浮かび、水面上のボートに乗って浮かんでいる時と同じ乗り心地を疑似的に与えることができます。体験者にヘッドマウントディスプレイを装着させて、水面に浮かぶボートからの視点の360度映像を表示することで、一層リアルな感覚を感じさせることができるヴァーチャルリアリティボートシミュレータを実現できま

す。また流動化した砂を用いると、砂の中をプールウォーキングのように歩くことができます。水の場合は水面に映像の投影は困難ですが、砂の場合は表面に映像を投影できます。例えば、イルカの映像を砂の表面に投影させることによりイルカと一緒に歩くことができ、退屈でつらいリハビリテーションやトレーニングを楽しくすることが可能になります。また津波や洪水の疑似体験も可能となり、防災訓練にも応用できます。さらに埼玉県内の病院・企業と一緒に産学連携で医療応用への検討を進めております。今後とも流動床インタフェースの応用で産学連携を積極的に進めていきたいと考えております。



菅谷 諭 (すがや さとし) 教授・博士 (工学) 東北大学大学院終了、NEC、アリゾナ大学オプティカルサイエンスセンター、静岡理工科大学助教授を経て2006年4月からものづくり大学。特許出願45件、電子情報通信学会、応用物理学会、NEDO ナノテクノロジーロードマップ検討委員会、産業構造審議会研究開発小委員会、産学連携教育推進委員。(連絡先: 048-564-3835/sugaya@iot.ac.jp)



## ベトナムにて伝統木造建築の図面集をつくる

建設学科 林 英昭 准教授

ベトナム中部の古都フエというところで、阮朝の王都の建築と都市に関する調査研究を15年ほど続けています。研究活動のかたわらで、現地の伝統木造建築に関する図面集を現地語で発行するという活動を始めています。

構造と意匠の合一を最大の魅力とする建築にとって、建築の全体像を踏まえた上で、それぞれの特徴をより適確に把握するためには、基本的な建築図面は不可欠な資料です。しかしながら、伝統木造建築というのはその性質上、建築時に設計図を伴わないことも多く、その図面を得ようとする場合には、実物を測って図面化する以外に方法がありません。日本ではそうした実測調査の蓄積が膨大にあり、日本の古建築に関する本は多くは平面図や断面図を掲載し、その魅力を適確に伝えてくれます。ところがベトナムにおいて古建築の本と言えば、歴史学者が建物の沿革や創立者の来歴を写真とともに語るだけの本が一般的で、建築そのものを評価して魅力を語る本というのは例がありません。そもそもベトナムにおける建築教育は歴史が浅く、日

本のように古建築に関する専門家が育っていないという実情もあります。

このような状況に一石を投じるため、ベトナムの古建築に関する実測図面集を発行するという活動を始めています。試みの第一巻として、22棟の古建築についてそれぞれの実測図面と写真に、ベトナム語で沿革と建築的特徴を加えて一冊とし、ベトナム国内の大学、研究機関、図書館など関係各所に配付しています。こうした活動が専門外の人々へも古建築の魅力をより適確に伝える一助となり、ベトナムの人々が伝統木造建築の価値を見直す契機になることを期待しています。



林 英昭 (はやし ひであき) 准教授 博士 (工学) 早稲田大学大学院博士後期課程修了。同大学助手、客員講師を経て、2010年4月よりものづくり大学講師。建築設計技術の歴史、東南アジア・ベトナムの伝統木造建築、文化遺産と国際協力に関する研究 (連絡先: 048-564-3860)

# 企業経営動向調査（2019年度第1回〈4月調査〉）結果

## 調査概要

○調査対象 ……………550社	○資本金別
有効回答数 ……………135社	●5000万円以下……………57社
回収率……………24.5%	●5000万円超～1億円以下……………35社
○業種内訳	●1億円超～3億円以下……………12社
●内製造業……………54社	●3億円超……………31社
●内非製造業……………81社	

## 企業経営動向調査結果

### I. 景況判断 (DI=「上昇」-「下降」)

1. 国内景気 DI		19年1月	19年4月	<p>○最近の国内景気 DI は、19年1月比で製造業「-26」、非製造業「+3」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○先行きは、19年1月比で製造業「-13」、非製造業「-1」であり、製造業が悪化する見込み。</p>
最近	全社	-7	-16	
	内製造業	0	-26	
	内非製造業	-13	-10	
先行き (6カ月先)	全社	-22	-27	
	内製造業	-19	-32	
	内非製造業	-24	-25	

2. 業界の景気 DI		19年1月	19年4月	<p>○最近の業界景気 DI は、19年1月比で製造業は「-26」の改善、非製造業は「+10」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○先行きは、19年1月比で製造業「-6」、非製造業「+7」であり、製造業が悪化する見込み。</p>
最近	全社	-7	-12	
	内製造業	-4	-30	
	内非製造業	-10	0	
先行き (6カ月先)	全社	-31	-29	
	内製造業	-29	-35	
	内非製造業	-32	-25	

3. 自社の業況 DI		19年1月	19年4月	<p>○最近の自社業況 DI は、19年1月比で製造業「-11」、非製造業「+12」であり、製造業が悪化。</p> <p>○先行きは、19年1月比で製造業「+16」、非製造業「+6」であり、いずれも改善する見込み。</p>
最近	全社	-6	-3	
	内製造業	-8	-19	
	内非製造業	-5	7	
先行き (6カ月先)	全社	-21	-10	
	内製造業	-27	-11	
	内非製造業	-16	-10	

## II-1. 経営動向（売上高）

（注）19/1-3月期、19/4-6月期の上段の（ ）内の数値は19年1月調査時の見通し

1. 売上高 DI （対前四半期比）	実 績		見 通 し		
	18/10-12	19/1-3	19/4-6	19/7-9	
全 社	25	(-4) 4	(-11) -9	12	<p>○19/1-3月期の売上高 DI は、18/10-12月期比で製造業「-32」、非製造業「-12」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○今後の見通しは、19/4-6期は1-3期比で製造業「-4」、非製造業「-20」であり、非製造業が大きく悪化する見込み。19/7-9期は4-6期比で製造業「+23」、非製造業「+20」であり、いずれも改善する見込み。</p>
内 製 造 業	21	(-6) -11	(-8) -15	8	
内 非 製 造 業	27	(-3) 15	(-13) -5	15	

2. 経常利益 DI （対前四半期比）	実 績		見 通 し		
	18/10-12	19/1-3	19/4-6	19/7-9	
全 社	16	(-6) -2	(-15) -12	5	<p>○19/1-3月期の経常利益 DI は、18/10-12月期比で製造業「-32」、非製造業「-7」であり、製造業が大きく悪化。</p> <p>○今後の見通しは、19/4-6期は1-3期比で製造業「+6」、非製造業「-21」であり、非製造業が大きく悪化する見込み。19/7-9期は4-6期比で製造業「+7」、非製造業「+22」であり、非製造業が大きく改善する見込み。</p>
内 製 造 業	15	(-23) -17	(-12) -11	-4	
内 非 製 造 業	16	(8) 9	(-18) -12	10	

## III. その他

1. 製品の在庫水準 DI （「過大」 - 「不足」）		19年1月	19年4月	
最 近	全 社	6	9	
	内 製 造 業	8	19	
	内 非 製 造 業	5	1	
先 行 き （6カ月先）	全 社	1	3	
	内 製 造 業	8	6	
	内 非 製 造 業	-5	1	

2. 生産・営業用設備 DI （「過剰」 - 「不足」）		19年1月	19年4月	
最 近	全 社	-5	-2	
	内 製 造 業	-6	-4	
	内 非 製 造 業	-5	-1	
先 行 き （6カ月先）	全 社	-4	-6	
	内 製 造 業	-8	-9	
	内 非 製 造 業	-2	-4	

3. 雇用人員 DI (「過剰」 - 「不足」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の雇用人員 DI は、19年 1月比で製造業「+15」、非製造業「+5」であり、製造業の人手不足が改善した。</p> <p>○先行きは、19年 1月比で製造業「+4」、非製造業「+11」であり、いずれも人手不足が多少改善する見込み。</p>
最 近	全 社	-40	-33	
	内 製 造 業	-32	-17	
	内非製造業	-48	-43	
先 行 き (6カ月先)	全 社	-44	-37	
	内 製 造 業	-28	-24	
	内非製造業	-57	-46	

4. 資金繰り DI (「楽」 - 「厳しい」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の資金繰り DI は、19年 1月比で製造業「+2」、非製造業「-6」となった。</p> <p>○先行き DI は、19年 1月比で製造業「+2」、非製造業「-5」であり、非製造業で資金繰り悪化が多少みられる。</p>
最 近	全 社	16	13	
	内 製 造 業	15	17	
	内非製造業	16	10	
先 行 き (6カ月先)	全 社	14	11	
	内 製 造 業	15	17	
	内非製造業	13	8	

5. 販売価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の販売価格 DI は、19年 1月比で製造業「-17」、非製造業「+5」であり、製造業は下降傾向、非製造業は上昇傾向。</p> <p>○先行きは、19年 1月比で製造業「-6」、非製造業「+4」であり、製造業は下降傾向、非製造業は上昇傾向となる見込み。</p>
最 近	全 社	10	5	
	内 製 造 業	13	-4	
	内非製造業	7	12	
先 行 き	全 社	0	0	
	内 製 造 業	0	-6	
	内非製造業	0	4	

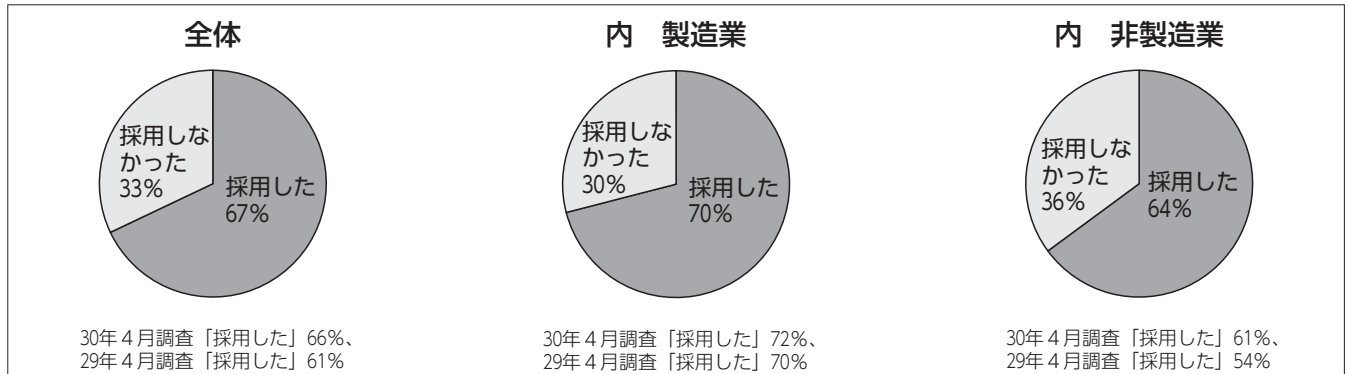
6. 仕入価格 DI (「上昇」 - 「下落」)		19年 1月	19年 4月	<p>○最近の仕入価格 DI は、19年 1月比で製造業「±0」、非製造業「+1」であり、いずれもほぼ横ばい。</p> <p>○先行きは、19年 1月比で製造業「+6」、非製造業「-5」であり、製造業で仕入価格が上昇する見込み。</p>
最 近	全 社	30	30	
	内 製 造 業	32	32	
	内非製造業	28	29	
先 行 き	全 社	32	32	
	内 製 造 業	40	46	
	内非製造業	26	21	

# 特別調査「新卒採用動向、外国人留学生採用状況及び賃金改定に関する調査」

## 1. 令和元年度(平成31年4月採用)の新卒者採用の有無及び令和2年度(令和2年度4月採用)計画について

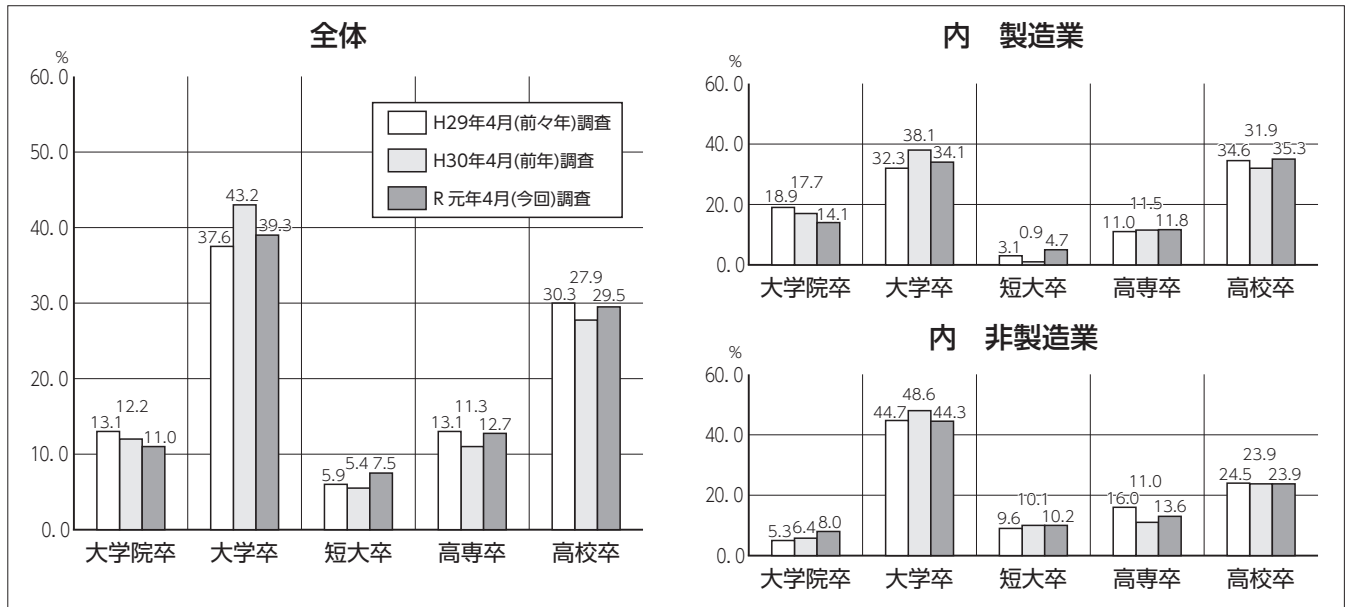
(1) 2019年4月新卒採用を行いましたか。

回答数：全体135（内製造業54、内非製造業81）



◇製造業の新卒採用比率が前年度比2%低下したものの、非製造業が前年度比3%増となり、全体は前年度比1%増となった。

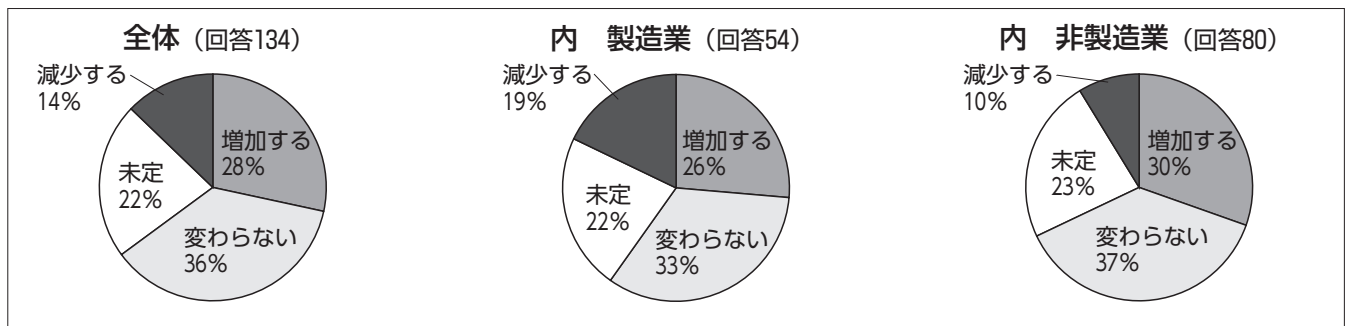
(2) (1)で採用したと回答した先に…採用した新卒の学歴は（複数回答可）。



◇学歴別では大学卒の採用比率が最も多く、次いで高校卒、高専卒、大学院卒、短大卒となっている。

◇前年度の採用比率との比較では大学院卒、大学卒が減少し、短大卒、高専卒、高校卒が増加している。

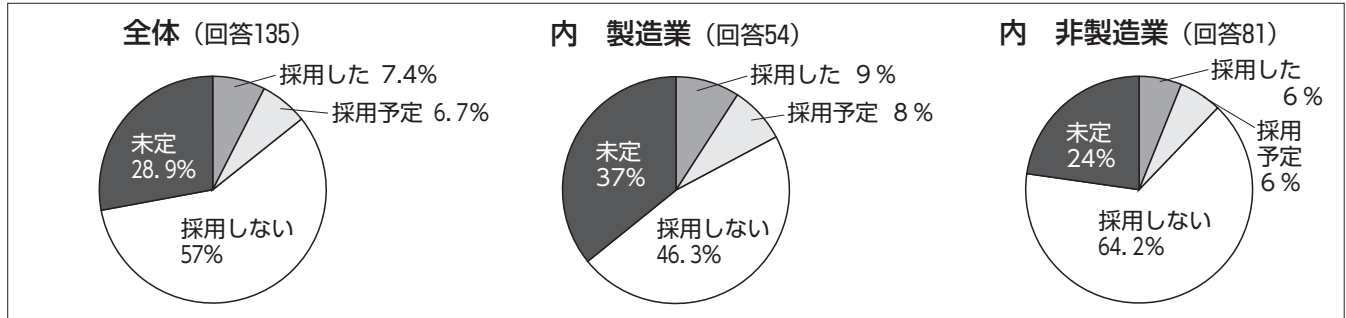
(3) すべての回答先に…令和2年4月の採用予定は令和元年度採用実績に比どのようになりますか。



◇令和2年4月の採用予定が「未定」とする比率を前年度と比較すると、全体は22.4%と前年度比+5.6%、製造業は22.2%と前年度比+0.4%、非製造業は22.5%と前年度比+10.0%となっており、非製造業の増加幅が前年度大きくなっている。

## 2. 外国人留学生の採用について

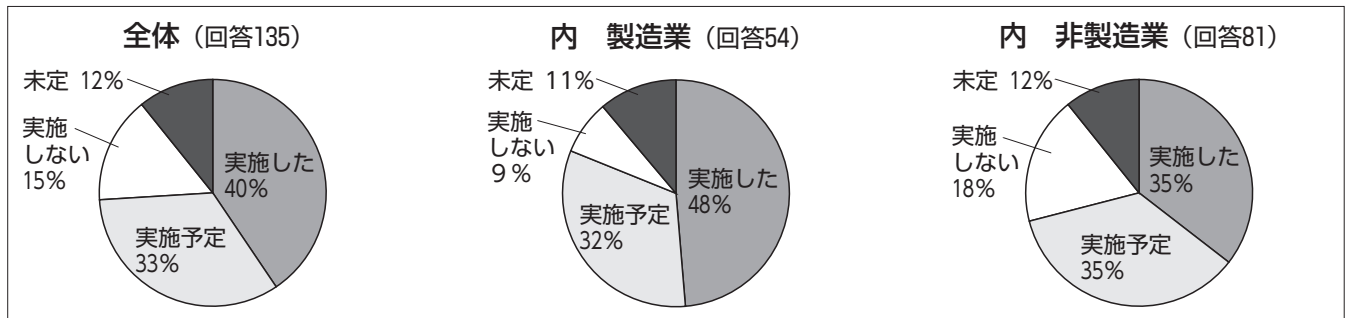
(1) 令和元年度中(H31年4月～令和2年3月)に外国人留学生を採用した、または採用する予定がありますか？



◇外国人留学生を「採用した」・「採用予定」の比率合計値を前年度と比較すると、全体は14.1%と前年度比+4.3%、製造業は16.7%と前年度比+4.1%、非製造業は12.4%と前年度比+4.8%となっており、いずれも前年度を上回っている。

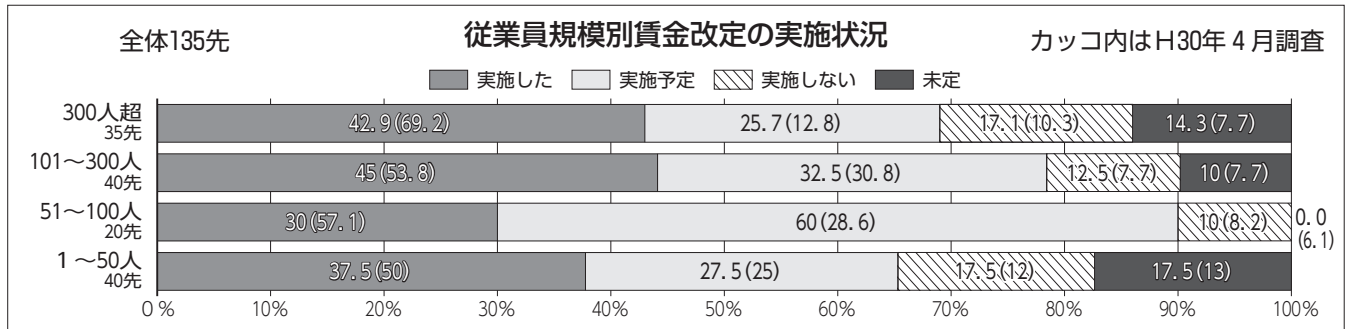
## 3. 令和元年度の賃金改定結果（見込み）について

(1) 平成30年度は賃金改定を実施しましたか？



◇賃金改定を「実施した」・「実施予定」の比率合計値を前年度と比較すると、全体は73.3%と前年度比-6.5%、製造業は79.6%と前年度比-5.4%、非製造業は69.2%と前年度比-6.3%となっており、いずれも前年度を下回っている。

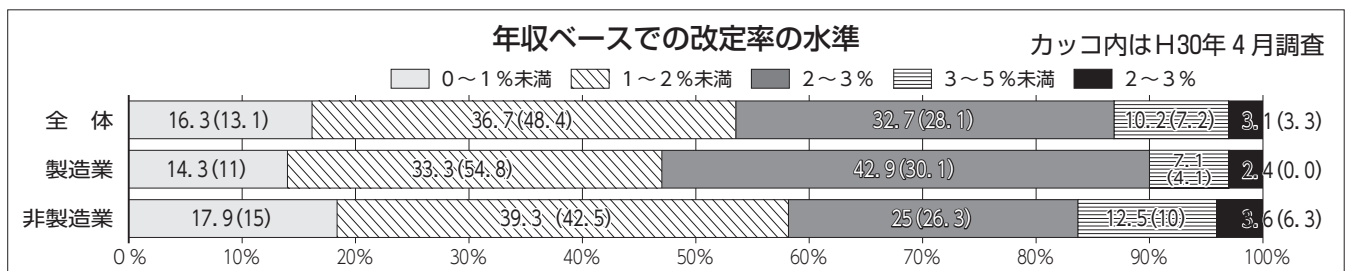
### \* 従業員数別賃金改定の実施状況



◇「実施した」・「実施予定」の比率合計値を前年度と比較すると、従業員300人超は68.6%と前年度比-13.4%、従業員101～300人は77.5%と前年度比-7.1%、従業員51～100人は90%と前年度比+4.3%、従業員1～50人は65%と前年度比-10%となっており、従業員51～100人のみ前年度を上回っている。

(2) 年収ベースでの改定率の水準は？

(1)の質問で、「実施した」及び「実施する予定」と回答した先に質問



◇年収ベースの改定率水準は、全体では「1～2%未満」が36.7%と最も多く、次いで「2～3%未満」32.7%、「0～1%未満」16.3%となっている。前年度の水準と比較すると、製造業は「1～2%未満」が減って「2～3%未満」が増えているが、非製造業は「1～2%未満」が減って「2～3%未満」も微減となっている。

# 新入社員研修 開催

新入社員研修が四月三日、四日、大宮ソニックスティにて開催され、総勢六二名が参加しました。

りそな総合研究所(株)パートナー講師、古澤美奈子氏を講師に迎え、グループ討議やロールプレイング等の形式で進められました。

## 〈研修の目的〉

- ① 学生生活から社会人生活へのスムーズな転換を図る
- ② 社会人としての行動のあり方や仕事の進め方、職場の基本的なルールを学ぶ
- ③ 職場での基本的なビジネスマナーを実習を通して体得する
- ④ プログラム
- ⑤ 学生から社会人へ
- ⑥ 効率的な仕事をするために
- ⑦ 良い人間関係を築くために
- ⑧ 職場でのコミュニケーションとチームワーク



講義をする古澤美奈子氏

- ⑤ ビジネスマナーの基本
- ⑥ 自己啓発と自己管理

・ 応対・マナーの基本動作、職場での言葉遣い、電話応対、来客応対・訪問のマナー等の習得に向けて、参加者



訪問のマナーを学ぶ



コミュニケーション実習

全員が実習やロールプレイングに熱心に取り組む姿が多く見られるなど、新社会人としての基本的な心構えやビジネスマナーを学ぶ貴重な機会となりました。

## 〈参加者感想〉

- ・ 頭では理解していても、ロールプレイングをしてみると普段の言葉づかいが出てしまうことがわかった。何度も基礎を繰り返し練習して、自然な対応ができるようになった。
- ・ 自分の出来ている部分、出来ていない部分が明確になったセミナーだった。周囲をよく見て同僚や上司と協力しながら会社に貢献していきたい。
- ・ セミナーに参加して、社会人としての気持ちを作ることができた。会社の役に立つ人材になれるよう頑張りたい。
- ・ 実際の現場でよく起こることを例として挙げていただいたので、とても分かりやすく覚えやすかった。ロールプレイング方式だったので、

集中して取り組みやすかった。自分には積極性が足りないことを痛感した。これを機に、もつと自分から表現をして話ができるように変わっていききたい。

・ 頭では理解していても、実際にやってみると難しい、そんな一日でした。この先様々なことで評価してもらうためには、「マナー」も重要なものの一つだと痛感しました。今日学んだことを不器用でも表現し、自分のものにしていききたいです。

という感想が出ました。

## 外国人留学生雇用 セミナー・企業説明会を開催

厚生労働省埼玉労働局と本会との共催で五月二十日(月)に、企業を対象とした外国人留学生雇用セミナーならびに外国人留学生対象の企業説明会を大宮ソニックスティで開催しました。

企業向け留学生雇用セミナーでは、東京出入国在留管理局さいたま出張所統括審査官の山高博氏と株式会社シーエックスカーゴ人事部雇用開発課課長田島麻奈氏の説明がありました。

なお、企業説明会では大学等(専修学校・高専・短大・大学・大学院等)の前年度卒業及び本年度卒業予定の外国人留学生五八一名が参加し、各企業のブースに分かれて、熱心に説明を聴いている姿が見られました。



企業説明会の様子



企業ブースで説明を聴いている様子

## 既卒三年以内の方 対象就職面接会を開催

厚生労働省埼玉労働局と本会との共催で六月三日(月)に、既卒三年以内の方を対象就職面接会を大宮ソニックスティ地下展示場で開催しました。

この面接会は、高校・専門学校・短大・大学等を卒業して概ね三年以内の方と、埼玉県内に就業場所のある事業所を中心とした企業が一堂に会する就職面接会で、早期就職の実現を積極的に支援するために開催しており、今年は百十七名の方が参加しました。

当日は、企業PRタイムにて各企業の魅力をプレゼンテーションし、自社の魅力を端的に参加者に伝えていました。面接会では、八十四社が各ブースに分かれ、学生からの質問に丁寧に答えていました。



地下展示場で企業PRをしている様子

令和元年

# 暑中お見舞いの申し上げます

紙上名刺交換会 到着順掲載

代表取締役 社長 池田 一義 株式会社 埼玉りそな銀行	代表取締役 吉野 寛治 吉野電化工業株式会社	代表取締役 会長 岩田 珠治 株式会社 デサン	頭取 長堀 和正 株式会社 武蔵野銀行
代表取締役 社長 川本 武彦 株式会社 サイサン	代表取締役 会長 牛窪 啓嗣 株式会社 愛工舎製作所	取締役 社長 原 敏成 武州瓦斯株式会社	代表取締役 社長 斉之平 伸一 三州製菓株式会社
取締役 社長 戸所 邦弘 富士倉庫運輸株式会社	代表取締役 社長 田中 徳兵衛 セントラル自動車技研株式会社	代表取締役 栗田 美和子 株式会社 クリタエイムデリカ	取締役 副社長執行役員 徳 潤良 孝 日本信号株式会社





紙上名刺交換会

到着順掲載

社 取締役  
長  
武州産業株式会社  
小田切武久

代表取締役  
最高顧問  
菊池 勇  
ポークライト株式会社

代表取締役  
会 長  
細沼哲夫  
日本伸管株式会社

代表取締役  
社 長  
松本伸一郎  
株式会社 松本商会

代 取締役  
表  
日本自動車管理株式会社  
三原宏治

社 取締役  
長  
坂戸ガス株式会社  
筋野正美

代 取締役  
表  
株式会社シタラ興産  
設楽竜也

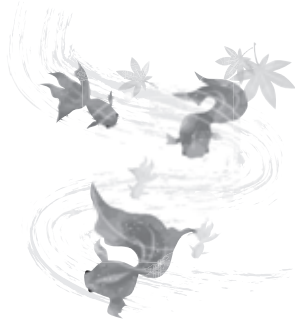
代 取締役  
表  
積田冷熱工事株式会社  
積田鉄也

社 代表取締役  
長  
埼玉トヨペット株式会社  
平沼一幸

社 代表取締役  
長  
株式会社丸  
原 壮太  
善

社 代表取締役  
長  
埼京東和薬品株式会社  
関 勝

社 代表取締役  
長  
株式会社ビュクスコーポレーション  
荻野芳朗



紙上名刺交換会

到着順掲載

代表取締役  
大野洋子  
株式会社ゼネラルサービス

代表取締役社長  
橋本宏太郎  
株式会社サイニチホールディングス

総支配人  
道上浩之  
ロイヤルバインズホテル浦和

理事長  
薄辰美  
埼玉県中古自動車販売商工組合

社団法人  
埼玉県経営者協会  
専務理事 廣澤 健一  
職員 一同

代表取締役社長  
望月 諭  
望月印刷株式会社

代表取締役  
小松君志  
株式会社コマーム



# 高校生等の就職支援に関し 小松弥生埼玉県教育委員会教育長 が本会石井会長に要請

令和元年五月二十一日に埼玉県  
教育局県立学校部長渡邊亮様が本  
会事務局に来局され、本会石井進  
会長に対し「高校生等の就職支援  
に関する要請書」を手交しました。

会員各位におかれましては、本  
要請書の趣旨を踏まえ、新規高等  
学校及び特別支援学校卒業予定者  
の採用につきまして、引き続き御  
協力くださいますようお願いいた  
します。

(要請文は以下のとおり)

## 高校生等の就職支援に 関する要請

本県の教育行政の推進につきま  
しては、日頃より格別の御理解、  
御協力を賜り、厚く御礼申し上げ  
ます。

さて、高校生等の就職状況は、  
景気回復を受けて雇用情勢の改善  
が続いていることから、平成三十  
一年三月末の県内公立高校生の就  
職内定率は九七・八%と、過去十  
年間で二番目に高い内定率となり  
ました。



高校生等の就職支援に関し要請書を石井会長に手交する  
埼玉県教育局県立学校部長 渡邊 亮 様 (右)

ここ数年、高い就職内定  
率となっておりませんが、こ  
れも貴団体及び貴団体所属  
の事業所による様々な御協  
力によるものと、深く感謝  
申し上げます。

今年度も高校生の求人件  
数は、高い水準を維持する  
と予想されておりますが、  
就職未内定者が増加するな  
ど、決して楽観視できない  
状態であると考えます。

県教育委員会といたしま  
しては、高校生等の就職支

援に全力で取り組むとともに、貴  
団体所属の事業所と連携を図り、  
明日の埼玉を担う人材の育成に努  
めてまいります。

貴団体所属の事業所におかれま  
しては、大変な経営努力をされて  
いることと存じますが、高等学校  
及び特別支援学校卒業予定者の採  
用につきまして、引き続き御協力  
をいただきますよう、改めてお願  
いたします。

## 青年経営者部会

### 二〇一九年度定時総会開催

青年経営者部会の二〇一九年度  
定時総会が五月二十七日、パレスホ  
テル大宮にて開催され、関係者を  
含め二七名が参加しました。

#### ◆第一部 定時総会

総会は白田和弘部会長が議長と  
なり、二〇一八年度事業報告、同  
決算報告、二〇一九年度事業計画、  
同事業予算について、それぞれ原  
案通り承認されました。

#### ◆第二部 講演会概要

「SDGs達成を通じた中小企業  
の企業価値向上・競争力強化に向  
けて」と題し、経済産業省関東経  
済産業局地域経済部 社会・人材  
政策課長 渡邊智彦氏にご講演い  
ただきました。

#### ■講演会概要

貴職におかれましても、今回の  
要請の趣旨を御理解いただき、貴  
団体所属の事業所への御協力に、  
特段の御配慮をお願い申し上げま  
す。

令和元年五月二十一日  
埼玉県教育委員会  
教育長 小松弥生  
一般社団法人 埼玉県経営者協会  
会長 石井 進 様

①企業の経営理念そのものとして  
SDGsを活用していく価値

・SDGsの17のゴールは、社会  
的課題・ニーズに気づくヒント  
の宝庫。社会的課題を解決する  
ための商品・サービスを考えて  
いくことが、イノベーション・  
マーケット志向で商品開発力を  
高めることにも繋がる。

・ゴールに向けて会社が取組むこ  
とは、企業活動の社会的な正当  
性を高める。

・「世の中のために役立つ」とい  
う実感を確認しながら、社員  
の意欲とチームワークを引き出す  
人材確保面でもプラスの効果。



定時総会

②SDGsに取り組むことによるフ  
ァイナンス面での効果

③世界の「共通言語」であること  
・SDGsは強力なコミュニケーション  
ツール。SDGsを活用  
して国内外の事業者と理念を共  
有し、社会的課題の克服に向け  
て、新たなパートナーシップの  
構築・ビジネスチャンスを獲得。

□中小企業向けSDGs認知度・  
実態調査結果

・「SDGsに関して全く知らな  
い」と回答した企業は84・2%。  
中小企業への浸透は限定的。

・「SDGsへの対応を検討・実  
施していない(SDGsを知ら  
ない企業も含む)」と答えた企  
業の内4割が「自社には関係が  
ない」と回答。ビジネスチャン



AI導入事例発表を行う濱川恭次氏



特別講演を行う渡邊智彦氏



挨拶をする臼田和弘部会長



新部会員のご挨拶 埼玉画廊 竹内氏



石井進 経営者協会新会長によるご来賓挨拶

現状の課題・課題解決の方向性

スを逃しているかもしれない。また、SDGsに貢献することは難しい」と回答した企業の内、約3割が、すでにSDGs貢献に寄与する社会課題解決等に資する事業に取り組んでいる。紐付けがうまく出来ていない。

※ヒアリングから明らかになった課題

- ・中小企業が単独で取組む場合、成果が出るまで時間がかかる
- ・中小企業自ら社会課題を設定することは困難。社会課題を抽出・設定・整理し、中小企業に結びつける機能が重要

- ・中小企業がSDGsに取り組んでいくためには、単独ではなくSDGsをテーマに地域関係者で連携して取組むことが有効
- ・地域SDGsコンソーシアムについて（関東経済産業局の取組み）
- ・地域全体で盛り上げる仕組みとして立ち上げ、SDGs達成に

■事例発表概要

□中小企業の困りごと（人手不足・業務効率化・コスト削減・品質向上・後継者不足・技術伝承等）は、AIやIoTを活用して解決できるのか

□AIとは「人工知能」、IoTとは「モノのインターネット」すべてのモノがインターネットでつながることで、生活やビジネスが根底から変わる」

□導入事例のご紹介

・日本酒作りへのIoT活用

・醗の温度管理を杜氏のノウハウにより手動で実施→IoTの活用により醗の温度を自動測定し、遠隔からの確認を実現

・工場での製品検査へのAI活用

・製造品の検査過程を技術者が目

◇第三部 中小企業におけるAI・IoT導入事例について

東日本電信電話株式会社埼玉事業部 コラボレーション推進PT

アライアンス推進担当部長 濱川恭次氏よりご紹介いただきます。

に向けて先進的に取り組んでいる長野県にて試行的に実施

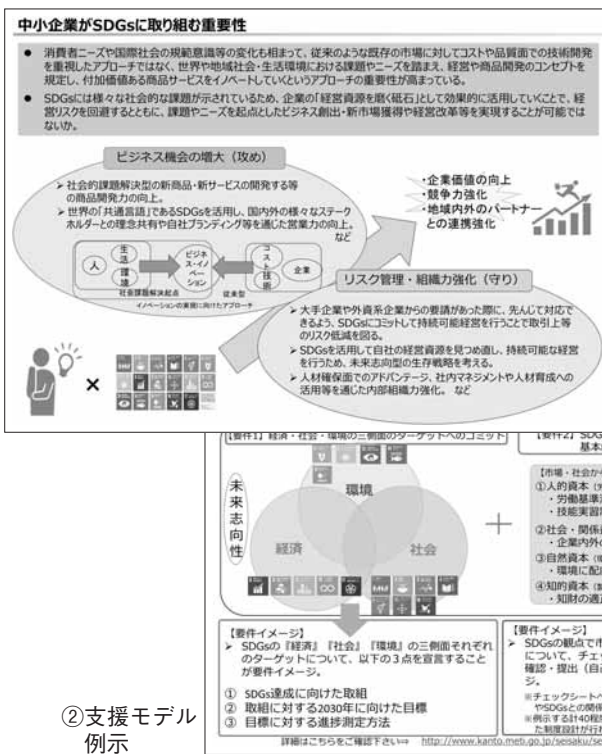
□検討結果①中小企業がSDGsに取り組む重要性（別紙参照）

□検討結果②自治体によるSDGsに取り組む中小企業等を後押しするための支援モデル例示（別紙参照）

①中小企業がSDGsに取り組む重要性

●消費者ニーズや国際社会の規範意識等の変化も相まって、従来のような既存の市場に対してコストや品質面での技術開発を重視したアプローチではなく、世界や地域社会・生活環境における課題やニーズを踏まえ、経営や商品開発のコンセプトを規定し、付加価値ある商品サービスを提供していくというアプローチの重要性が高まっている。

●SDGsには様々な社会的な課題が示されているため、企業の「経営資源を適切に配分して活用していくことで、経営リスクを回避するとともに、課題やニーズを起点としたビジネス創出・新市場獲得や経営改革等を実現することが可能ではない。



例示

【要件1】経済・社会・環境の三側面のターゲットへのコミットメント

【要件2】SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（非財務情報等）

【市場・社会から期待される基本的な事項（例）】

- ①人的資本（労働、人権等）
- ②社会・関係資本（組織体制、社会貢献等）
- ③自然資本（環境）
- ④知的資本（製品サービス、事業執行等）

【要件イメージ】

- ① SDGs達成に向けた取組
- ② 取組に対する2030年に向けた目標
- ③ 目標に対する進捗測定方法

詳細はこちらをご確認ください⇒ [http://www.karfo.meti.go.jp/seisaku/seichou/sdgs\\_shien\\_model.html](http://www.karfo.meti.go.jp/seisaku/seichou/sdgs_shien_model.html)

青年経営者部会  
新部会員のご紹介（入会順）

株式会社 高脇基礎工事

常務取締役 長谷川 貴彦 様

建設業

事業所所在地  
〒364-0001 埼玉県北本市深井4-188

有限会社 協電社

代表取締役 加藤 周作 様

電気工事業

事業所所在地  
〒354-0018 埼玉県富士見市みずほ台3-2-12

埼玉画廊（有限会社 エスパス・ミュウ）

取締役 竹内 春香 様

画廊（美術商）、展覧会企画、美術品査定・鑑定、アートコンサルタント、内装設計等

事業所所在地  
〒332-8511 埼玉県川口市栄町3-5-1  
そごう川口5階

②支援モデル例示

視で実施↓画像解析AIの活用により、検査工程を一部自動化  
 ・二四時間稼働している工場でのIoT活用  
 二四時間稼働の工場で働く様々な勤務形態の従業員の方への周知徹底に苦慮↓均質でより伝わりやすい情報発信の方法としてロボットによる伝達を実施  
 ・紙で管理している業務へのAIとIoT活用  
 手入力によるデータ転記から出荷伝票印刷までを人手により実施↓手作業は荷受表のスキヤンとスキヤン結果のチェックのみ

◆**第四部 懇親会**

初めに、埼玉県経営者協会会長の石井進氏から来賓祝辞をいただきました。  
 続いて、白田和弘新部会長の開宴挨拶の後、松本伸一郎第一代部会長より乾杯のご発声を頂きました。

その後、新部会員の方、オブザーバー参加の方からご挨拶をいただいたり、三名のメンバーから近況報告をいただいたりと、賑やかに活発な交流が行われました。最後に藤池一誠第一三代部会長より閉会挨拶を頂き、懇親会は盛会裏に終了しました。

**第八回上條名譽會長杯争奪戦 會員親睦ゴルフ大会開催**

**藤倉孝治氏（幸手都市ガス会長）が総合優勝！上條名譽會長杯を獲得**

第八回上條名譽會長杯争奪戦 會員親睦ゴルフ大会は、六月十四日(金)武蔵カントリークラブ豊岡コースにおいて、十五名が参加して開催された。

朝のミーティングは、廣澤専務理事の司会進行で始まり、石井会長の開会挨拶、ルール説明が行われた。

当日は、天候にも恵まれ、プレーはアウト・イン同時にスタートし、日頃の腕前を競った。

上條會長杯(ダブルペリア方式)は、アウト五二、イン四五、グロス九七、ネット七三で藤倉孝



スタート前の集合写真



石井会長から優勝杯を授与される幸手都市ガス藤倉孝治会長



藤池競技副委員長より準優勝賞品を授与される野火止製作所川上博史社長

治氏（幸手都市ガス会長）が総合優勝し上條名譽會長杯を獲得した。準優勝は、アウト五四、イン五四、グロス百八、ネット七三・二で川上博史氏（野火止製作所社

**第八回上條名譽會長杯争奪戦 會員親睦ゴルフ大会主要結果**

〈令和元年6月14日(金) 武蔵カントリークラブ 豊岡コース〉

**1. 上位入賞者（ダブルペリア／敬称略）**

順位	氏名	会社名	役職名	アウト	イン	グロス	HC	ネット
優勝	藤倉 孝治	幸手都市ガス	会長	52	45	97	24.0	73.0
準優勝	川上 博史	野火止製作所	社長	54	54	108	34.8	73.2
3位	須田 隆文	藤 電 設	社長	45	51	96	20.4	75.6
4位	高見 公三	日 本 電 気	支社長	45	54	99	22.8	76.2
5位	白戸 修	白 戸 工 務 店	社長	52	46	98	20.4	77.6
バスコ	須田 隆文	藤 電 設	社長	45	51	96	20.4	75.6
//	中野 和典	大川ホールディングス	取締役	46	50	96	16.8	79.2

**2. シニアの部**

優勝	藤倉 孝治	幸手都市ガス	会長	52	45	97	24.0	73.0
準優勝	川上 博史	野火止製作所	社長	54	54	108	34.8	73.2

**3. グランドシニア**

優勝	藤倉 孝治	幸手都市ガス	会長	52	45	97	24.0	73.0
----	-------	--------	----	----	----	----	------	------



初参加の白戸工務店白戸修社長



初参加のタムロ川鍋宏専務



初参加のセントラル自動車技研田中徳兵衛社長

2019年春季労使交渉・中小企業業種別  
回答状況 [了承・妥結合] (加重平均)

2019年6月18日

(一社)日本経済団体連合会

[第1回集計]

業種	2019年			2018年			
	社数	回答額 (了承・妥結合)	アップ率	社数	回答額 (了承・妥結合)	アップ率	
製造業	鉄鋼・非鉄金属	7 <sup>※</sup>	4,658 <sup>円</sup>	1.80%	7 <sup>※</sup>	4,403 <sup>円</sup>	1.73%
	機械金属	40	5,460	2.06	51	5,353	2.05
	電気機器	10	5,127	1.98	12	6,029	2.31
	輸送用機器	7	4,659	1.83	8	5,360	2.16
	化学	13	5,501	2.23	11	4,996	1.94
	紙・パルプ	9	4,064	1.75	7	4,799	2.06
	窯業	3	4,078	1.41	4	4,734	1.65
	繊維	14	3,295	1.54	15	3,503	1.62
	印刷・出版	6	5,626	1.86	9	5,871	2.01
	食品	9	4,960	2.08	13	4,890	2.05
その他製造業	11	4,740	1.75	7	4,001	1.54	
製造業平均	129	5,001 (4,749)	1.94 (1.90)	144	5,121 (4,763)	2.00 (1.92)	
非製造業	商業	16	5,117	2.03	20	5,005	2.09
	金融	1	—	—	1	—	—
	運輸・通信	27	3,317	1.39	35	3,668	1.57
	土木・建設	10	5,286	1.93	7	5,200	1.95
	ガス・電気	9	4,117	1.45	6	4,433	1.53
	その他非製造業	11	6,148	2.64	10	3,692	1.56
非製造業平均	74	4,432 (4,370)	1.77 (1.78)	79	4,323 (4,266)	1.78 (1.77)	
総平均	203	4,764 (4,611)	1.87 (1.86)	223	4,805 (4,587)	1.91 (1.87)	

- (注) 1) 本調査は、地方別経済団体の協力により、従業員数500人未満の17業種752社を対象に実施  
 2) 17業種207社 (27.5%) で回答が出ているが、このうち4社は平均金額不明等のため、集計より除外  
 3) 上記回答・妥結額は、定期昇給(賃金体系維持分)等を含む  
 4) 製造業平均、非製造業平均、総平均欄の( )内の数値は、単純平均  
 5) 2018年の数値は、2018年6月15日付第1回集計結果  
 6) 集計社数が1社の場合など数字を伏せた業種があるが、平均には含まれる

青年経営者部会

第二回勉強会「学び合うプログラム」開催

「第二回勉強会」学び合うプログラム。経営者として学ぶべき、経営・リーダーシップに関する読書会&意見交換会」を五月一六日に開催し七名が参加しました。

変化の激しい今の時代こそ、経営者には、自分の型を確立した後も「固まりかけた自分」をもう一度壊し、成長し続けるための「学びほぐす力」が必要です。「学びほぐし」とは、一度固まった知識のかたまりをほぐし、必要のないものを捨て、知識を組み直す作業です。その「学びほぐし」の機会を経営者同士で共有し、あらためて「経営・リーダーシップ」に関

して学び合う機会として、新たな学びの場として開催しております。

◆発表された書籍

- 「メンタルトレーナーを目指す人がはじめに読む本」浮世満理子著
- 「繁栄の法則その二」北川八郎著
- 「松下幸之助に学んだ」人が育つ会社」の作り方」青木仁志著
- 「日本一働きたい会社の作りかた」(株)LIFEL人事部長 羽田幸広著
- 「メンタリストDaiGoの幸せつかむ言葉」メンタリストDaiGo著
- 「ひらめき」を生む技術」MI Tメディアラボ所長伊藤穰一著

◆発表

「書籍の内容紹介(主なポイント)主張」「書籍から学んだこと」「今後の経営にどう活かすか」に関して発表した後、意見交換を行いました。出席した経営者協会根岸茂文シニアアドバイザーから各発表に対してアドバイスをコメントがありました。

紹介された書籍から様々な情報を得られ、また、意見交換では、取り上げた書籍のテーマに準じた自組織の課題を開示してお互いにアドバイスをし合ったりと、相互交流・相互研鑽に繋がる大変有意義な機会となりました。

今後は「経営・経済」に関する講演も併設し、継続して開催してまいります。

無期転換制度と期間満了雇止めをめぐって

弁護士 安西 愈

「無期転換直前」の雇止め問題

最近の報道によれば、平成一八年四月から「無期転換ルール」による有期雇用の無期雇用への転換が始まったことに伴って無期転換が発生する一日前(すなわち、通算契約期間が五年を超える前日の雇用期間満了日)をもって雇用期間満了と通知する「無期転換逃れ」のケースが増えている状況があるということから、厚生労働省は、こうした行為は是正の必要があるとして雇止めの実態調査に乗り出し、今秋までにその結果をとりまとめ対応等を検討する旨が報せられた。

インポイント労働法

期間満了雇止めと更新の期待

この問題は、対象有期労働者の期間満了雇止めに関し、「当該労働者において当該有期労働契約の契約期間満了時に当該有期労働契約が更新されるものと期待することについて合理的な理由がある」と認められる(労働契約法第十九条)か否かである。

すなわち、雇用継続の合理的期待の存否は、従業員業務の内容、状況、雇用の臨時性・常用品・更新の回数、通算期間、雇用期間の管理の状況、他の労働者の取扱い、雇用継続への使用者の言動などを総合考慮して判断されてきた。

換権の発生を阻止する目的で雇止めすることは解雇となり、解雇権の濫用となる。

不更新条項と更新限度の合意

雇用期間満了直前の更新拒否の場合と違って、あらかじめ、雇用契約や更新をする際に「本契約は今回の契約期間の満了をもって終了し、次期の更新はしないことに合意する」といった不更新条項や「本件契約は四回目の更新期間満了日をもって終了することを合意する」といった不更新条項や更新限度を定めた期間契約を結んだ場合には、それが、無期転換権の発生直前の日と合致していても有効かという問題である。

この点については、期間契約社員が多数回にわたって有期労働契約を更新後、使用者が不更新条項に関する十分な説明・情報提供を行った上で労働契約書を交付し、期間契約社員が署名・押印により同意したケースにつき、「不更新条項を含む経緯や契約締結後の言動等も併せて考慮して、労働者が次回更新されないことを真に理解して契約を締結した場合には、雇用継続に対する合理的期待を放棄したものであり、不更新条項の効力を否定すべき理由はないから、解雇に関する法理の類推を否定すべきである」と不更新条項による終了を有効とした判例(東京高裁判決 平二四・九・二〇/最高裁決定 平二五・四・九 同事件の上告棄却)もあり、有期労働契約制度が法制度上認められていることから、無期転換の脱法意図ではなく、使用者から十分に説明された上の本人の自由意思により合意した場合は有効と解されよう。さらに期間満了一時金等の金銭の給付の合意があればなお明白といえよう。



コバトン

# 埼玉県からのお知らせ

## 企業向け相談窓口パンフレット(2019年度版)の御案内

埼玉県では、企業の皆様向けの相談窓口をまとめたパンフレットを作成し、ホームページに掲載しています。(経営、労働・雇用、資金、技術・知的財産、人材育成、企業立地の各分野について掲載しています) 事業を進めていくために、どんな支援策があるのか。どこに相談したらよいのか。このようなとき、パンフレットを御覧いただき、各支援機関にお気軽に御相談ください。

[https://www.prefsaitama.lg.jp/a0801/souda\\_nmadoguchi.html](https://www.prefsaitama.lg.jp/a0801/souda_nmadoguchi.html)  
お問い合わせ先  
県産業労働政策課  
(048-830-3723)



## 「第9回沢栄一ビジネス大賞」募集の御案内

県では、新しい事業展開や革新的な技術開発に挑戦し、飛躍を目指す県内中小企業を表彰する「第9回沢

栄一ビジネス大賞」の候補企業を募集します。

500にのぼる企業の創設に関わり、「日本近代経済社会の父」と言われる沢栄一翁の精神を受け継いだ、意欲あふれる企業の御応募をお待ちしています。

### 表彰対象

新規性・独創性などにあふれる新たな事業展開や、革新的で将来性のある優れた技術・製品開発に取り組む企業・個人事業主

### 副賞

- ・大賞(1者)：賞金10万円
- ・奨励賞(2者)：記念品
- ・特別賞(1者程度)

※応募方法などの詳細はお問い合わせください。

### 問い合わせ先

- 県産業支援課
- 創業支援担当又は技術支援担当
- 創業支援担当
- (048-830-3908)
- 技術支援担当
- (048-830-3777)

## 「シルバー・ワークステーション」による企業等への人材派遣

県では、公益財団法人いきいき埼玉(埼玉県シルバー人材センター連合)に設置した「シルバー・ワークステーション」によりシルバー人材センター(愛称「シニアパワーステーション」)の人手不足分野業務等における労働者派遣事業を支援しております。「シルバー・ワークステーション」では、貴社のニーズに合わせ豊かな経験・知識・技能を持つ

た60歳以上の会員を派遣します。是非シルバー人材センターの人材派遣を御活用ください。

### 問い合わせ先

公益財団法人いきいき埼玉(埼玉県シルバー人材センター連合)  
(048-728-7841)  
県シニア活躍推進課  
(048-830-4540)

## 「彩カネ江 SATTAMA」女性活躍推進のための講演・交流会の参加者募集

若手女性のロールモデルとなる県内で活躍している女性経営者や管理職等による講演・交流会を県内各地で開催します。

### 日時・会場

- ①9月3日(火) 大宮ソニック 駅弁マイスター 三浦由紀江氏
  - ②9月20日(金) 越谷サンシティ 三州製菓(株) 齊之平眞梨子氏
  - ③10月17日(木) 熊谷ハートピア (株)エイト 阪田紫帆里氏
  - ④11月12日(火) 埼玉会館 日本電鍍工業(株) 伊藤麻美氏
  - ⑤11月27日(水) ウェスタ川越 (株)櫻井印刷所 櫻井理恵氏
  - ⑥12月10日(火) 大宮ソニック (株)アイエフラッシュ 南まゆ子氏
  - ⑦1月17日(金) 川口リリア (株)テレビ埼玉 菅 美香氏
  - ⑧2月6日(木) 大宮ソニック (株)キャリア・مام 堤 香苗氏
- 各日 13時30分～16時00分
- 内容  
・女性経営者や管理職等による講演・ワークショップ等交流会  
(キーキ付ティータムあり)

## 働く女性応援講座の お知らせ

県では、女性の職場におけるステップアップや業務スキル向上を目的に、働く女性応援講座を開催します。企業、事務所での女性社員向け研修としても御活用いただけます。

### 開催

7月17日(水)から24回いつでも御参加いただけます。

### 場所

さいたま新都心 ホテルブリランテ武蔵野 With Youさいたまセミナー室

詳しくはHPを御覧ください。

[http://www.pref.saitama.lg.jp/swcc/harakujiuse/koza\\_01\\_ouen.html](http://www.pref.saitama.lg.jp/swcc/harakujiuse/koza_01_ouen.html)

○対象 埼玉県内在住のまたは在勤の女性

### 問い合わせ先

埼玉県女性キャリアセンター  
(048-601-5810)

## 労働セミナーの受講者を募集しています

県では、「働き方改革セミナー」の受講者を募集中です。

### 日時・会場

①8月2日(金)・9日(金)  
14時00分～16時00分  
新都心ビジネス交流プラザ

②8月28日(水)18時30分～20時00分  
八潮メセナ3階会議室

### 内容

・働き方改革関連法の概要  
・改正労働関連法のポイント  
・改正に伴う企業の対応  
※詳細は左記HPを御覧ください。

<http://www.prefsaitama.lg.jp/a0809/rodo/rodoseminar/>

### 問い合わせ先

県雇用労働課  
(048-830-4518)

## 県内中小企業若手社員(入社2～3年目)合同研修会を開催します

県では、入社2～3年目の若手社員を対象とした合同研修会を実施します。若手社員の教育・研修をお考えの方や、異業種交流に御興味のある事業者の方など、是非御活用ください。

### 【合同研修会の概要】

- ①日時 9月(各会場1日)
- ②会場 県内6地域(秩父、熊谷、春日部、川越、さいたま、川口)
- ③定員(申込み順) 300名
- ④参加費 無料
- ⑤内容

・コミュニケーション能力向上  
・課題解決  
・業務改善 等(予定)  
※日程等詳細については県HPを御参照ください。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0809/rodo/h31/wakateshankenshu.html>

### 問い合わせ先

県雇用労働課  
(048-830-4518)

# 事業だより

- 五月六日～六月四日
- ◆五・一六 労働法実務講座第一講 (ソニックスティイ)
- ◆五・二九 同右第二講 (ソニックスティイ)
- ◆六・四 同右第三講 (ソニックスティイ)
- ◆六・一〇 同右第四講 (ソニックスティイ)

## 告知版

- ◆六・一四 会員親睦ゴルフ大会(武蔵カントリー倶楽部豊岡コース)
- ★第一回特別セミナー  
日時 七月二十九日(月)一四時～一六時  
会場 ソニックスティイ六〇一  
内容 採用活動「ここぞで差がつく」成功のための実践講座  
講師 (株)マイナビ埼玉支社長 綿貫哲也氏

- ★第一回CSR委員会  
日時 九月九日(月)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 ソニックスティイ四〇三・四〇四

- 内容 発達障害者雇用に向けた企業支援セミナー  
講師 埼玉県障害者職業センター障害者職業カウンセラー 佐藤優子氏  
埼玉労働局職業安定部職業対

- 策課課長補佐 吉澤久雄氏  
コミュニティワン(株)経営統括 部人事部長 神谷康太氏  
パーソルチャレンジ(株)ジョブセンター川口センター長 郡 紘弥氏  
アイジャパン(株)人開発部部長 千葉崇文氏・営業企画部運営 企画課課長 佐藤直樹氏  
ウエルビー(株)ジョブセンター

- 川口センター長 山本知宏氏  
★中小企業向け事業継続セミナー  
日時 九月二四日(火)一三時三〇分～一六時三〇分  
会場 埼玉BCM訓練センター  
内容 中小企業強化法の概要と事業継続力認定制度のご紹介  
講師 特定非営利活動法人事業継続推進機構理事 伊藤毅氏

## 会員の動き

### 〔新入会のご案内〕

- ㈱アサヒコミュニケーションズ  
代表取締役会長 新井 正敏  
鴻巣市本町四一三二一三  
電話〇四八―五四一―五二二一  
(資) 四千万円  
(従) 五十四名
- 総合印刷並にWEB製作、管理とフォロ、ワーク
- アツピル(株)  
代表取締役 鹿又、賢二  
越谷市神明町二一八六一七  
電話〇四八―九四〇―八七〇〇  
(資) 五百万円  
(従) 二名
- 製造業、各種粘着テープ、フィルム、スポンジ等打ち抜き加工
- 埼玉画廊(有)エスパス・ミュー  
取締役 竹内 春香  
川口市栄町三五一―そごう川口5F  
電話〇四八―二七二―五〇八八  
(資) 一千万円  
(従) 七名
- 画廊(美術商)、展覧会企画、美術品査定・鑑定、アートコンサル  
タレント
- たつみ印刷(株)  
代表取締役 新 道行  
深谷市上敷免二八二二

- 電話〇四八―五七三―二七二一  
(資) 五千六百万円  
(従) 一〇三名
- 製造業(印刷)
- 飯能ケーブルテレビ(株)  
代表取締役 和泉 由起夫  
飯能市大字小久保一九一  
電話〇四二―九七四―三六一一  
(資) 四億五千万円  
(従) 三二名
- ケーブルテレビ、各種TV、インターネット、デンワ、スマホ、電気
- ペーパークラフト(株)  
代表取締役 長森 一男  
草加市西町一〇五一五  
電話〇四八―九二七―九八六八  
(資) 六千万円  
(従) 二七名
- 紙製容器製造業、食用品テイクアウト紙容器、フィルム張力調整機  
能付梱包材「コンラップ」
- ㈱ムトローフ 浦和支店  
専務取締役支店長 熊本 正宣  
さいたま市浦和区常盤九一二二  
一四  
電話〇四八―八三二―一五四一  
(資) 一千万円  
(従) 三〇名
- オフィス家具販売  
明成法務司法書士法人

- 代表社員 高橋 遼太  
渋谷区千駄ヶ谷三一五一―六ピルトップ5F  
電話〇三―六八六―〇六二八  
(資) 一百万円  
(従) 二五名
- 司法書士業
- ㈱ゆうちよ銀行 関東エリア本部  
本部長 山門 彰  
さいたま市中央区新都心三一一  
電話〇四八―六〇〇―二〇七九  
(資) 三兆五千億円  
(従) 一三〇〇九名
- 銀行業
- リンク司法書士事務所  
司法書士 中川 大吾  
さいたま市浦和区高砂三一二二  
二四 小峰ビル4F  
電話〇四八―七一一―四〇三二  
(従) 四名
- 士業(司法書士)

- 川口 晃一(旧 星島 惠三)  
クノールブレムゼ商用車システムジャパン(株)  
代表取締役社長  
バチエフスキ ヨアヒム(旧 本田 久人)  
㈱さいたまアリーナ  
代表取締役社長  
林 直樹(旧 加藤 容二)  
埼玉県信用保証協会  
会長  
中野 晃(旧 塩川 修)

- 三国 宏之(旧 執行役員久喜事業所長 久保 昌宏)  
東日本旅客鉄道(株)  
執行役員大宮支社長  
大西 精治(旧 中村 知久)  
㈱マイナビ 埼玉支社  
支社長  
綿貫 哲也(旧 井口 隆之)

### 〔社名変更〕

- ㈱オリジン  
(旧 オリジン電気(株))

- ワールド工業(株)  
比企郡嵐山町花見台一―二(嵐山花見台工業団地内)  
(旧) さいたま市北区吉野町二二七〇―四

### 〔代表者変更〕

- ㈱あしたのチーム 大宮支社  
大宮支社長  
川島 勇人(旧 水谷 浩紀)
- ㈱あすかビルサービス  
代表取締役社長  
新谷 志郎(旧 布施 茂雄)
- ㈱NTTファシリティーズ  
北関東・信越支店長

- 代表取締役  
松澤 敏也(旧 代表取締役会長  
松澤 博三)
- ㈱テレビ埼玉  
代表取締役社長  
川原 泰博(旧 平本 一郎)
- ㈱ドコモCS 埼玉支店  
支店長  
藤間 良樹(旧 三毛 孝彦)
- 日本信号(株)  
業務執行理事久喜事業所長

埼玉経協ニュース四一―一  
2019年7月23日発行  
さいたま市大宮区桜木町一七五―八  
ソニックスティイビル九階  
発行所 一般社団法人埼玉県経営者協会  
発行人 廣澤健一  
編集人  
電話〇四八―六四七―四〇〇  
印刷所 望月印刷株式会社  
さいたま市中央区阿弥五八三六